

EaseUS® Partition Master

ユーザーガイド



目次

はじめに	- 1 -
ようこそ	- 1 -
製品ラインナップ	- 1 -
本製品を使う前に	- 2 -
ハードウェア要件	- 2 -
対応しているファイルシステム	- 2 -
対応している記憶デバイス	- 3 -
インストールとアンインストール	- 3 -
ライセンス認証	- 3 -
メイン画面	- 4 -
EaseUS Partition Master の機能	- 6 -
パーティションの作成	- 6 -
パーティションのサイズ調整	- 7 -
ベーシックパーティションのサイズ調整	- 7 -
ダイナミックボリュームのサイズ調整	- 8 -
パーティション/ボリュームの移動	- 10 -
パーティションのマージ	- 10 -
コピー操作	- 11 -
ディスククローン	- 11 -
パーティションコピー	- 13 -
OS の移行	- 14 -
変換操作	- 15 -
FAT パーティションから NTFS パーティションに変換	- 15 -
基本ボリュームから論理ボリュームに変換	- 16 -
論理ボリュームから基本ボリュームに変換	- 17 -
ダイナミックディスクからベーシックディスクに変換	- 17 -
MBR ディスクから GPT ディスクに変換	- 19 -
GPT ディスクから MBR ディスクに変換	- 20 -
操作を削除	- 21 -
全て削除	- 21 -
パーティションを削除	- 21 -
パーティションやディスク上のデータを消去する	- 22 -
パーティションのフォーマット	- 23 -
クリーンアップと最適化	- 24 -
ジャンクファイルクリーン	- 25 -
大容量ファイルクリーンアップ	- 26 -
ディスク最適化	- 27 -
パーティション復元	- 27 -
WinPE Creator	- 28 -
環境の違いによる機能比較	- 30 -
その他の操作	- 31 -
RAID 5 ダイナミックディスクの修復	- 31 -

MBR を作り直す	- 31 -
アクティブパーティションの設定	- 32 -
GPT ディスクに初期化	- 32 -
コマンド	- 32 -
4K アライメント	- 34 -
ラベル/ドライブレターの変更	- 35 -
ファイルシステムの確認	- 36 -
パーティションを非表示	- 36 -
パーティションを閲覧	- 36 -
プロパティ	- 36 -
サーフェステスト	エラー! ブックマークが定義されていません。
テクニカルサポート	- 37 -

はじめに

ようこそ

EaseUS Partition Master をご利用いただきありがとうございます。

本製品は作成、削除、サイズ調整等のたくさんのパワフルな機能により簡単に整理、最適化が可能なハードドライブ管理ソフトです。

またパーティション管理の複雑な操作すらも簡素化した見やすいインターフェイスにより、すべての機能を簡単にご利用いただけます。

製品ラインナップ

EaseUS Partition Master には 5 種類の製品ラインナップがあり、製品によりライセンス認証、使用方法、機能が異なります。

Free : 家庭向け無償版です。Windows サーバーには対応していません。利用できる機能が限られています。

Professional : 企業ユーザーのデスクトップ PC およびノート PC 向け製品です。

Server : 企業ユーザーの Windows サーバー向け製品です。

Unlimited : 大企業ユーザー向け製品で、同一企業内での使用に関して制限がありません。

Technician : 使用に関する制限がなく、テクニカルサービスを提供することができます。

詳細は以下の製品比較表をご参照ください。

EaseUS Partition Master					
	Free	Professional	Server	Unlimited	Technician
パーティションのサイズ調整/移動	○	○	○	○	○
ダイナミックボリュームのサイズ調整	×	○	○	○	○
パーティションの結合	○	○	○	○	○
パーティションとディスクの消去	○	○	○	○	○
未割り当て領域を消去	○	○	○	○	○
パーティションの表示/非常時	○	○	○	○	○
アクティブパーティションの作成	○	○	○	○	○
デフラグ	○	○	○	○	○
MBR を作り直す	○	○	○	○	○
ダイナミックディスクからベーシックディスクに変換	×	○	○	○	○
RAID 5 ダイナミックボリュームの修復	×	×	○	○	○
基本⇄論理パーティションの変換	○	○	○	○	○
サーフィステスト	○	○	○	○	○

コマンド	×	○	○	○	○
EXT2/EXT3 パーティションの削除、作成、フォーマット、還元	○	○	○	○	○
MBR を GPT に変換	○	○	○	○	○
GPT を MBR に変換	×	○	○	○	○
MBR のシステムディスクを GPT に変換	×	○	○	○	○
WinPE ブータブルディスク	×	○	○	○	○
4K アライメント	○	○	○	○	○
EFI パーティションのサイズ変更	○	○	○	○	○
MBR ディスクとパーティションのコピー	○	○	○	○	○
ダイナミックボリュームのコピー	×	○	○	○	○
GPT ディスクとパーティションのコピー	×	○	○	○	○
OS の移動	×	○	○	○	○
消去/削除したパーティションの復元 Partition Recovery	×	○	○	○	○
Windows XP, Vista, 7, 8/8.1, 10	○	○	○	○	○
Windows Server	×	×	○	○	○
Windows Home Server	×	×	○	○	○

本製品のご利用の前に

ハードウェア要件

EaseUS Partition Master が正常に動作するためには、X86 同等以上でクロック数 500 MHz 互換 CPU とマウス、キーボード、カラーモニターがある標準的な PC システム、RAM メモリ 1.5GB と同等かそれ以上が必要です。

対応しているファイルシステム

- FAT12/FAT16/FA532
- NTFS
- ReFS
- EXT2/EXT3

注: EXT2/EXT3 の場合、機能がパーティションの作成、削除、コピー(セクターモードのみ)、フォーマットおよびパーティションの復元に限定されます。

対応している記憶デバイス

IDE、SATA、SCSI、USB 外付けハードディスク、Firewire ハードディスク、USB メモリー、メモリーカード等に対応しています。ディスク容量は最小 2 GB から最大 16 TB に対応しています。

インストールとアンインストール

EaseUS Partition Master のインストール

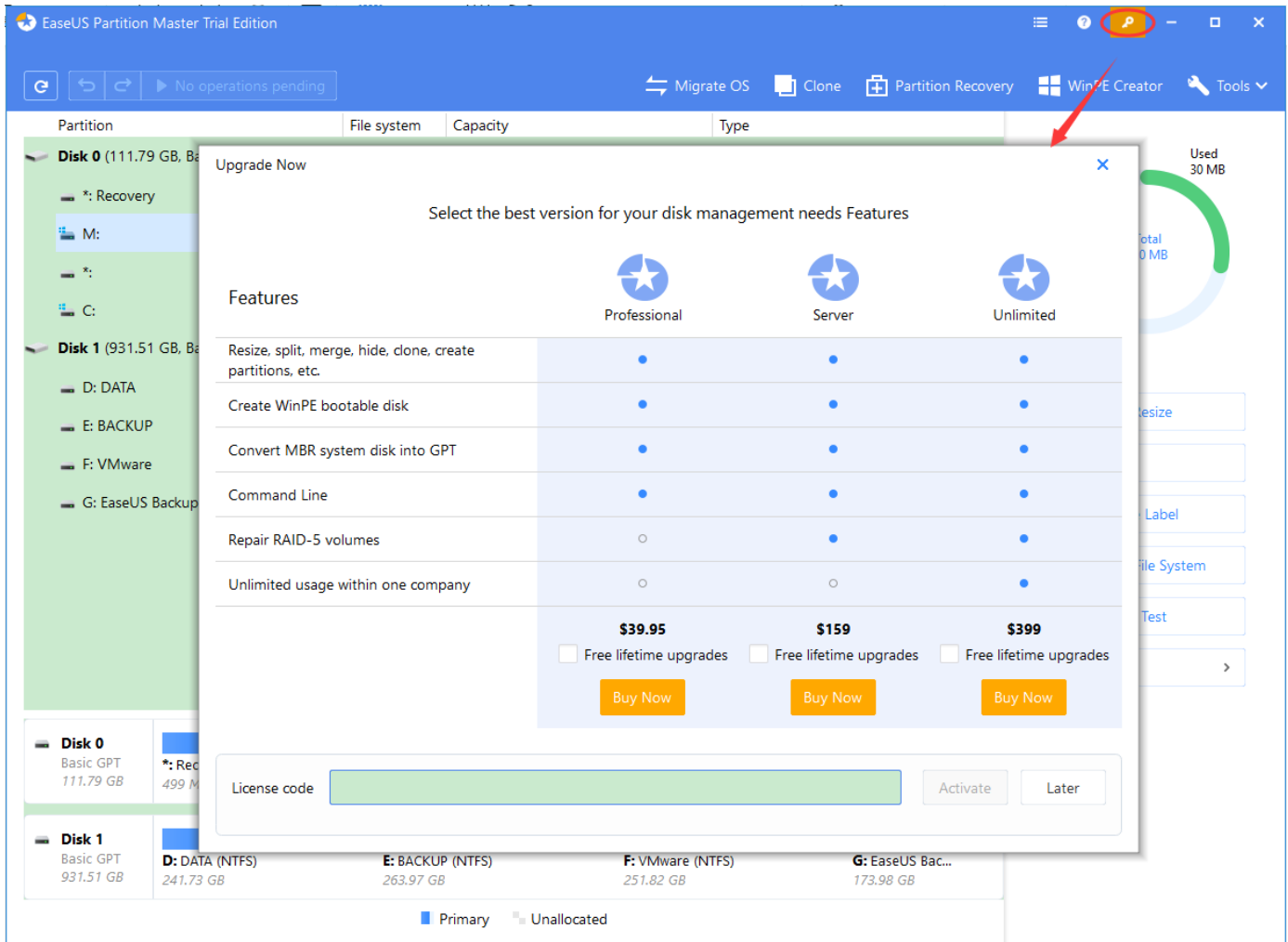
1. EaseUS Partition Master のセットアップファイルをダブルクリックします。セットアップウィザードが起動するので、**[次へ]**をクリックして次へお進みください。
2. 「ライセンス使用所許諾契約」をお読みにになり、**[同意する]**をクリックして次にお進みください。
3. 本製品をインストールする場所を選択してください。デフォルトのフォルダーにインストールする場合は**[次へ]**をクリック、またインストールするフォルダーを指定する場合は**[参照]**をクリックしてください。
4. Windows のスタートメニューにショートカットを作成する場所を設定してください。
5. デスクトップもしくは Windows のクイック起動にショートカットを作成する場合は、**チェック** を入れてください。両方設定することもできます。
6. 「インストール」をクリックすると、それまでに選択した条件が確定されインストールを開始します。

EaseUS Partition Master のアンインストール

1. Windows のスタートメニューから「スタート」>「設定」>「コントロールパネル」を選択してください。（Windows 7、Vista の場合は「スタート」>「コントロールパネル」）
2. 「プログラムの追加と削除」をダブルクリックして「プログラムの変更/削除」を選択してください。（Windows 7、Vista の場合は「プログラムと機能」をダブルクリックしてください。）
3. **EaseUS Partition Master** を選択して関連するコンポーネントと共に削除してください。（Windows 7、Vista の場合はリストから EaseUS Partition Master を選択して「アンインストール」をクリックしてください。）
4. あるいは、「スタート」>「全てのプログラム」>「EaseUS Partition Master」>「EaseUS Partition Master をアンインストール」を選択し、アンインストールウィザードの指示に従ってアンインストールすることもできます。

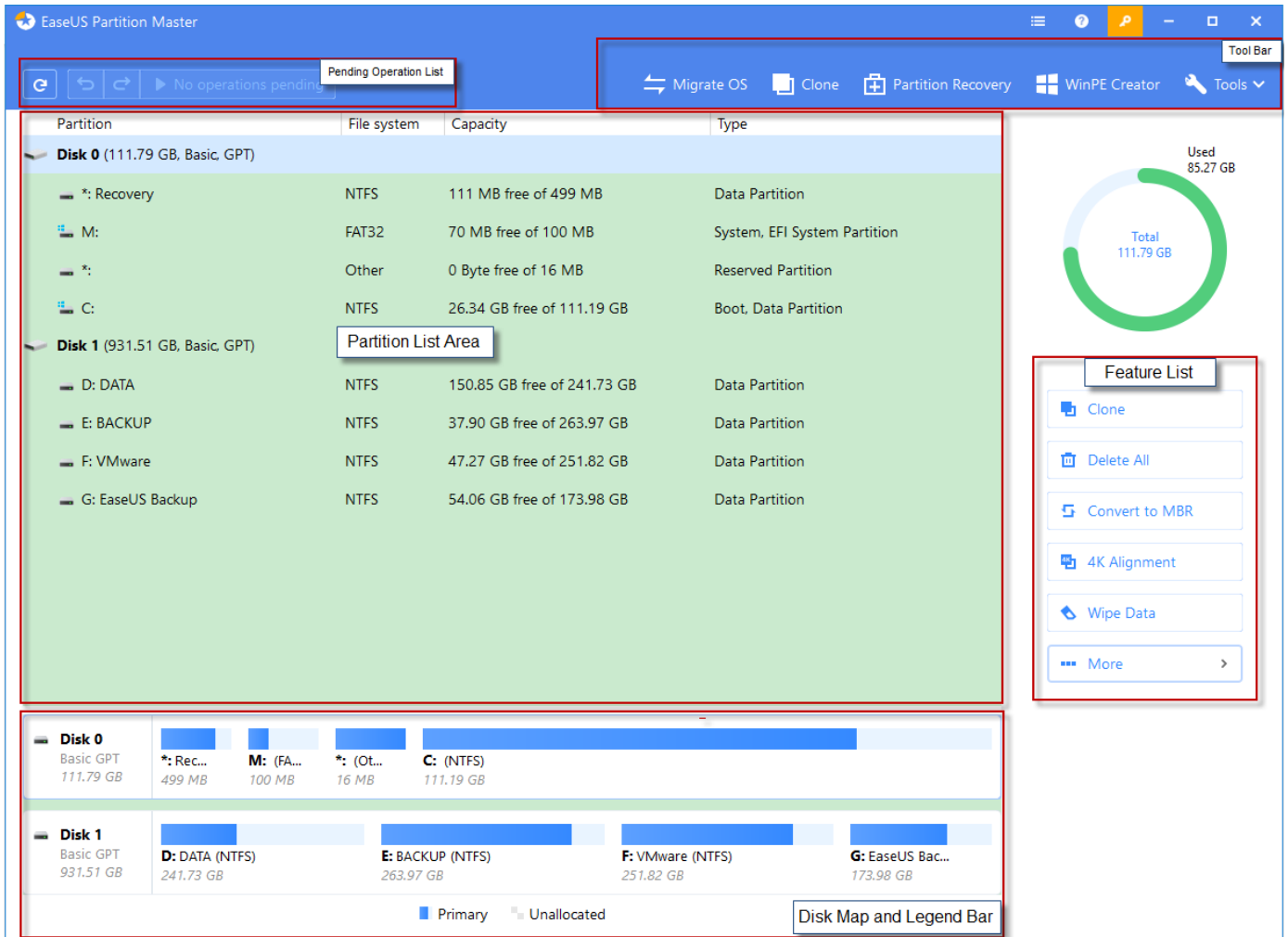
ライセンス認証

1. 無償版から有償版に切り替える場合、プログラム画面右上にある「**ライセンス購入**」ボタンをクリックしてください。
2. ライセンスコードをコピー & ペーストで入力して、**[ライセンス認証]**をクリックしてください。



メイン画面

インストール後、プログラムアイコンをダブルクリックして開始してください。するとプログラムのメイン画面が表示されます。



ツールバー: 4 種類の常駐機能が表示されます。

操作パネル: 選択したドライブ/ディスクに応じて利用可能な機能のリストが表示されます。

保留中の操作リスト: 初期設定では操作はすぐには実行されず、まずこのリストに保留されます。実行前にすべての変更を確認できるため、間違えて不要な操作を実行してしまうことを防ぐことができます。また一つ一つの操作が終わるまで次の操作を待つ必要がないため時間がかかりません。[キャンセル]をクリックして操作を中止、または[適用]をクリックして操作を続行できます。

[適用]: 保留中の操作を実行

[キャンセル(Undo)]: リストから最新の変更を取り消す

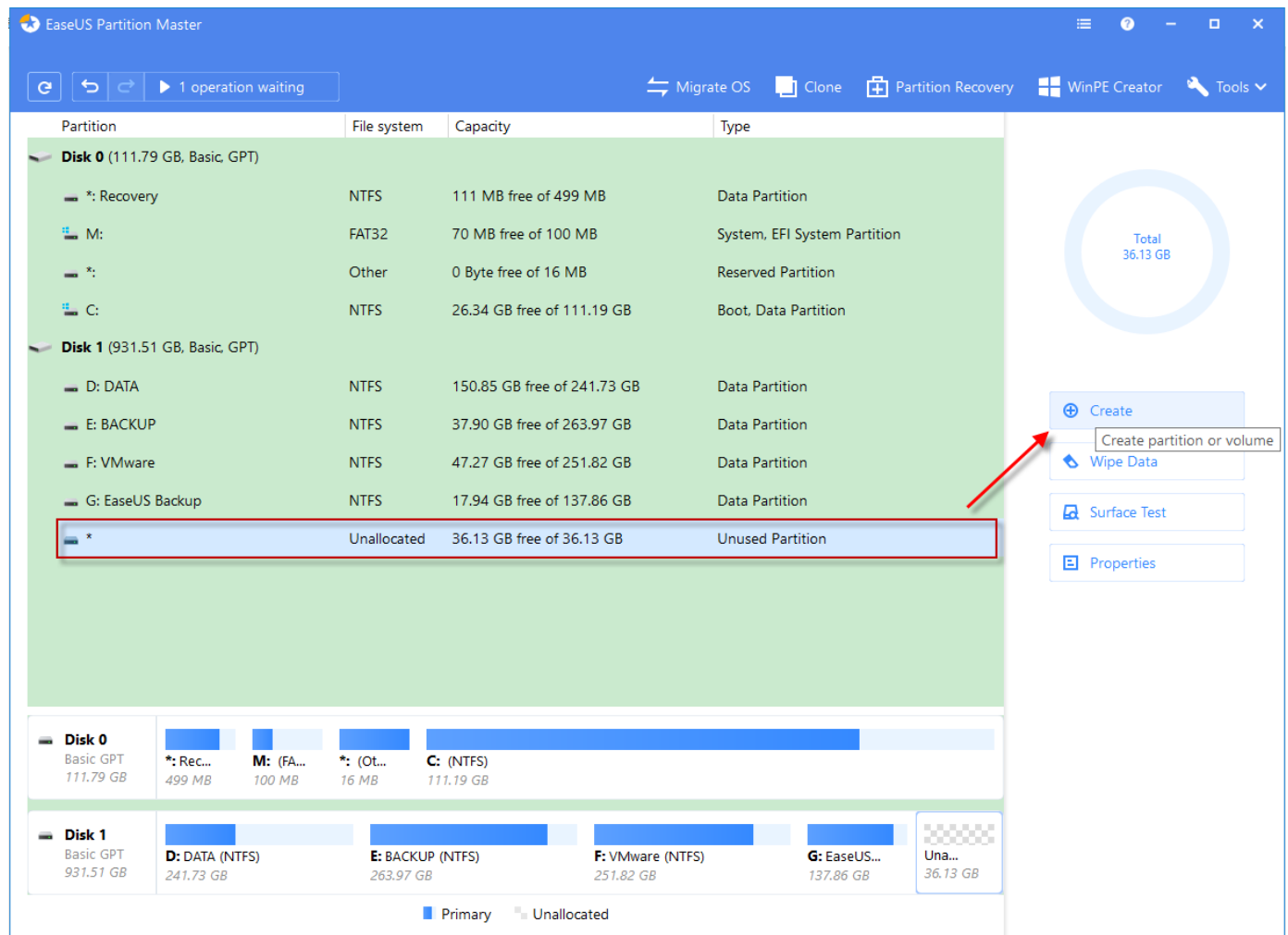
[前回の変更をやり直す(Redo)]: キャンセルされた変更を再度リストに登録する

パーティションリスト: 本製品が認識した全てのディスクとパーティションを表示します。それぞれのディスク/パーティションを選択すると、操作可能な機能が表示されます。

ディスクマップと凡例バー: 本製品が認識した全てのディスクとパーティションを、それぞれのデバイスごとにバーで表示しています。ディスク/パーティションを選択して右クリックすると、直接行える操作が表示されます。

EaseUS Partition Master の機能

パーティションの作成

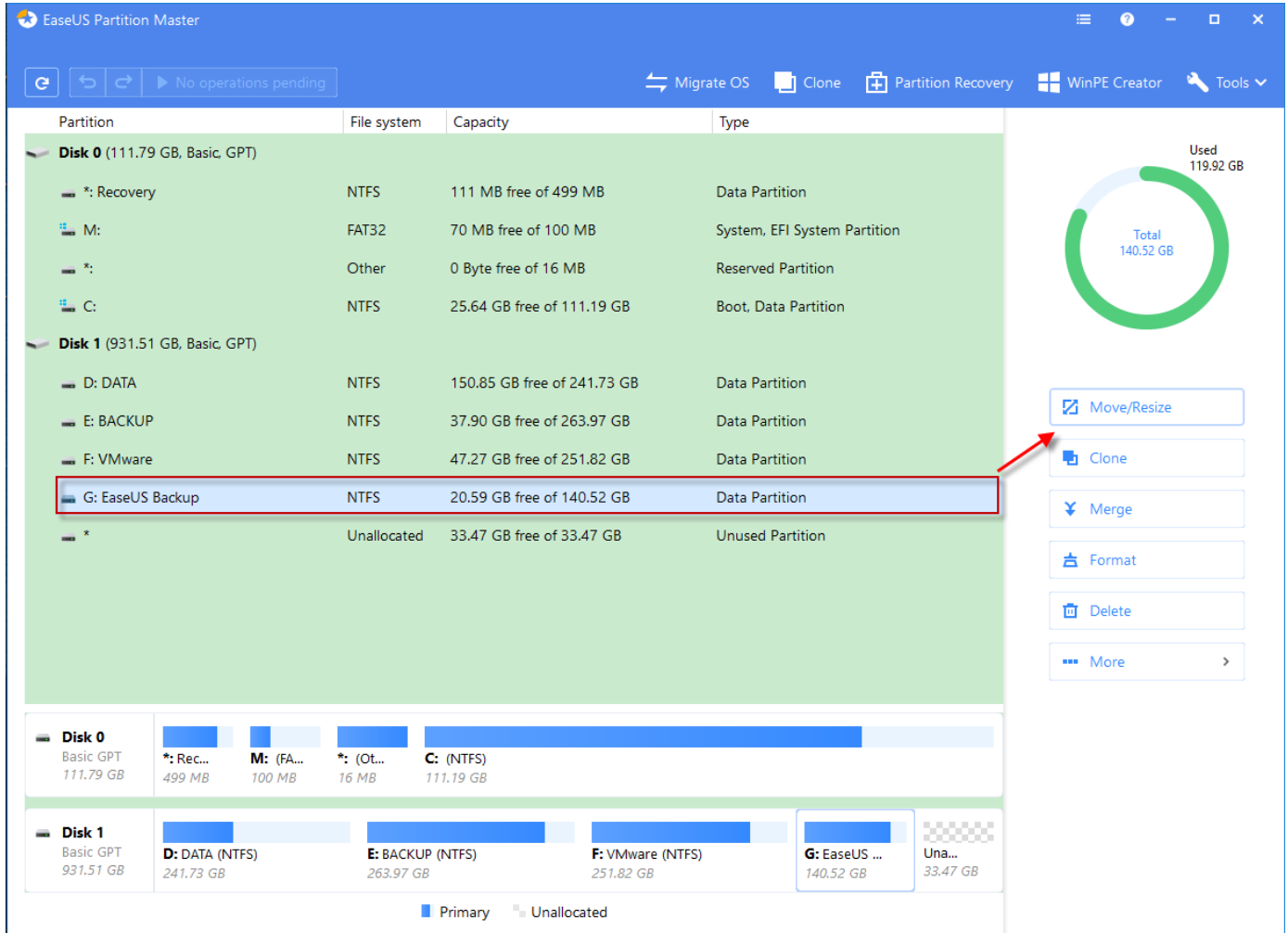


1. ハードドライブの未割当領域を選択して、操作パネルの[作成(Create)]をクリックします。パーティション/ダイナミックボリュームを作成する場合は、次のステップに進む前にパーティション/ボリュームの種類を選択してボリュームにディスクを追加します。
2. 開いたウィンドウで後々識別ができるようパーティションラベルを入力し、関連付けるために空のドライブレターをドロップダウンリストから割り当てます。
3. ファイルシステムとクラスターサイズを選択し、プライマリパーティションまたは論理パーティションのどちらとして作成するかを選択します。通常は OS をインストールする場合はプライマリパーティション、データの保存に使用する場合は論理パーティションに設定します。
4. パーティションのバーの境界線をドラッグするか、パーティションサイズとポジションを決めてダイアログに入力しま

す。

5. [OK]をクリックすると、保留中の操作リストに追加されます。

パーティションのサイズ調整



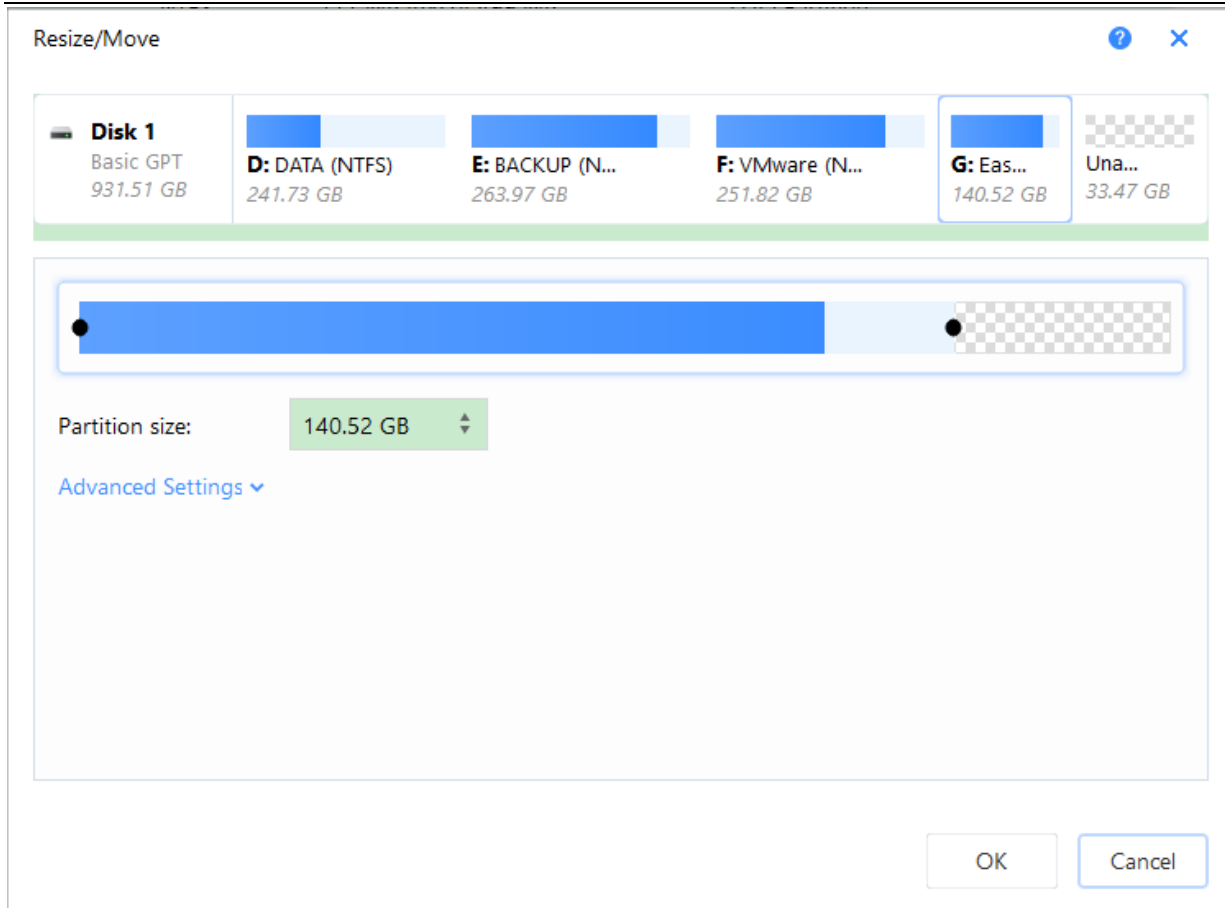
The screenshot shows the EaseUS Partition Master interface. The main window displays a list of partitions for two disks. Disk 0 (111.79 GB, Basic, GPT) contains partitions: Recovery (NTFS, 111 MB free of 499 MB), M: (FAT32, 70 MB free of 100 MB), a Reserved Partition (Other, 0 Byte free of 16 MB), and C: (NTFS, 25.64 GB free of 111.19 GB). Disk 1 (931.51 GB, Basic, GPT) contains partitions: D: DATA (NTFS, 150.85 GB free of 241.73 GB), E: BACKUP (NTFS, 37.90 GB free of 263.97 GB), F: VMware (NTFS, 47.27 GB free of 251.82 GB), G: EaseUS Backup (NTFS, 20.59 GB free of 140.52 GB), and an Unallocated space (33.47 GB free of 33.47 GB). The 'G: EaseUS Backup' partition is highlighted with a red box. On the right side, a circular progress indicator shows 'Used 119.92 GB' and 'Total 140.52 GB'. Below the indicator is a vertical toolbar with buttons: Move/Resize, Clone, Merge, Format, Delete, and More. A red arrow points from the 'G: EaseUS Backup' partition to the 'Move/Resize' button.

Partition	File system	Capacity	Type
Disk 0 (111.79 GB, Basic, GPT)			
*: Recovery	NTFS	111 MB free of 499 MB	Data Partition
M:	FAT32	70 MB free of 100 MB	System, EFI System Partition
*:	Other	0 Byte free of 16 MB	Reserved Partition
C:	NTFS	25.64 GB free of 111.19 GB	Boot, Data Partition
Disk 1 (931.51 GB, Basic, GPT)			
D: DATA	NTFS	150.85 GB free of 241.73 GB	Data Partition
E: BACKUP	NTFS	37.90 GB free of 263.97 GB	Data Partition
F: VMware	NTFS	47.27 GB free of 251.82 GB	Data Partition
G: EaseUS Backup	NTFS	20.59 GB free of 140.52 GB	Data Partition
*	Unallocated	33.47 GB free of 33.47 GB	Unused Partition

ベーシックパーティションのサイズ調整

パーティションのサイズ調整/移動方法:

1. パーティションを選択し、操作パネルの[サイズ調整/移動]をクリックします。
2. パーティションのバーの境界線(左右どちらでも可)をドラッグしてサイズとポジションを決定します。
3. [OK]をクリックすると、保留中の操作リストに追加されます。

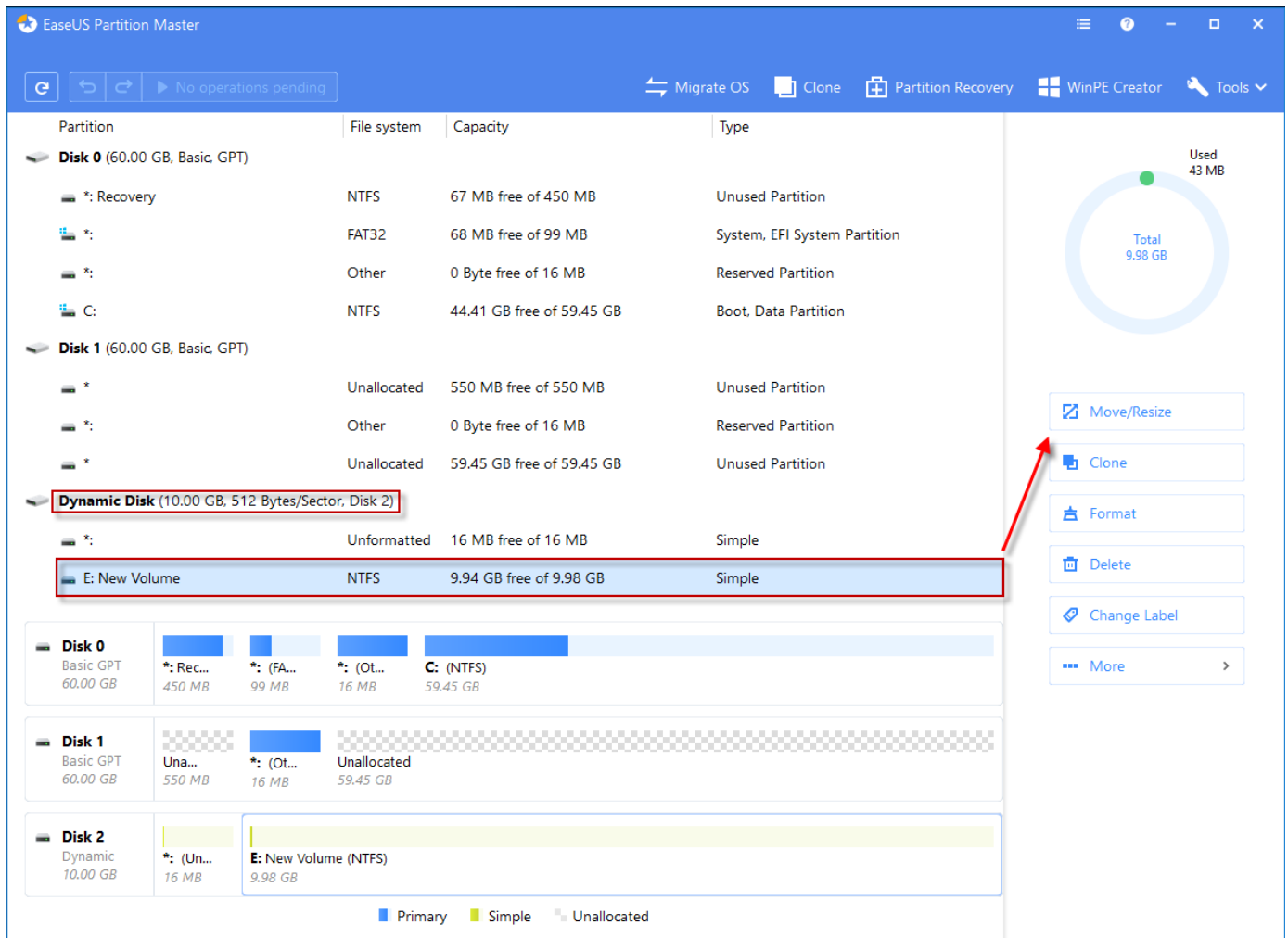


ヒント:

- **EaseUS Partition Master** はファイルシステムとパラメーターの制限範囲を自動で判断します。例えば、FAT16 のパーティションを上限の 4GB を超える容量には拡張しません。
- 復元ポイントを含むパーティションを移動もしくはサイズ調整した場合、「システムの復元」で作成した復元ポイントが消失することがあります。
- EaseUS Partition Master は、右側の境界線からであれば、BitLocker 暗号化パーティションのサイズ変更も可能です。ディスクのサイズを変更する前に、暗号化を完全に解除することをお勧めします。

ダイナミックボリュームのサイズ調整

シンプルボリューム、ミラーボリューム、スパンボリューム、ストライプボリューム、RAID 5 ボリュームを含むダイナミックボリュームのサイズ変更ができます。またすべてのダイナミックボリュームのサイズ調整は右側の境界線でのみ行うことができます。



ダイナミックシステムボリュームをサイズ調整することはできますが、「クォータ」を設定したボリュームは縮小できません。クォータを無効化するには、エクスプローラーでボリュームを右クリックし、「プロパティ」を表示します。次に「クォータ」を選択し、設定します。

ダイナミックボリュームのサイズを調整する方法：

1. ボリュームを選択し、操作リストの[サイズ調整/移動]をクリックします。
2. 右側の境界線をドラッグして、サイズとポジションを決定します。
3. [OK]をクリックして保留中の操作リストに追加します。

ヒント：

- 調整できるボリュームは現在使用している PC で使用されているものに限られます。
- 複数のダイナミックディスクでシンプルボリュームを拡張した場合はスパンボリューム に変換されます。
- シングルダイナミックディスクにサイズを縮小した後のスパンボリュームは、シンプルボリュームに変換されます。ただし、ストライプボリュームの場合は変換されません。
- サイズ調整できるダイナミックボリュームは NTFS、ReFS、FAT (FAT16/FAT32)ファイルシステムに限られます。NTFS ボリュームを除いた、その他の3つのファイルシステムのすべてのシステムダイナミックボリュームは未割当領域が同じハードディスク内のボリュームの右側の境界線と隣接していれば、拡張が可能です。

パーティション/ボリュームの移動

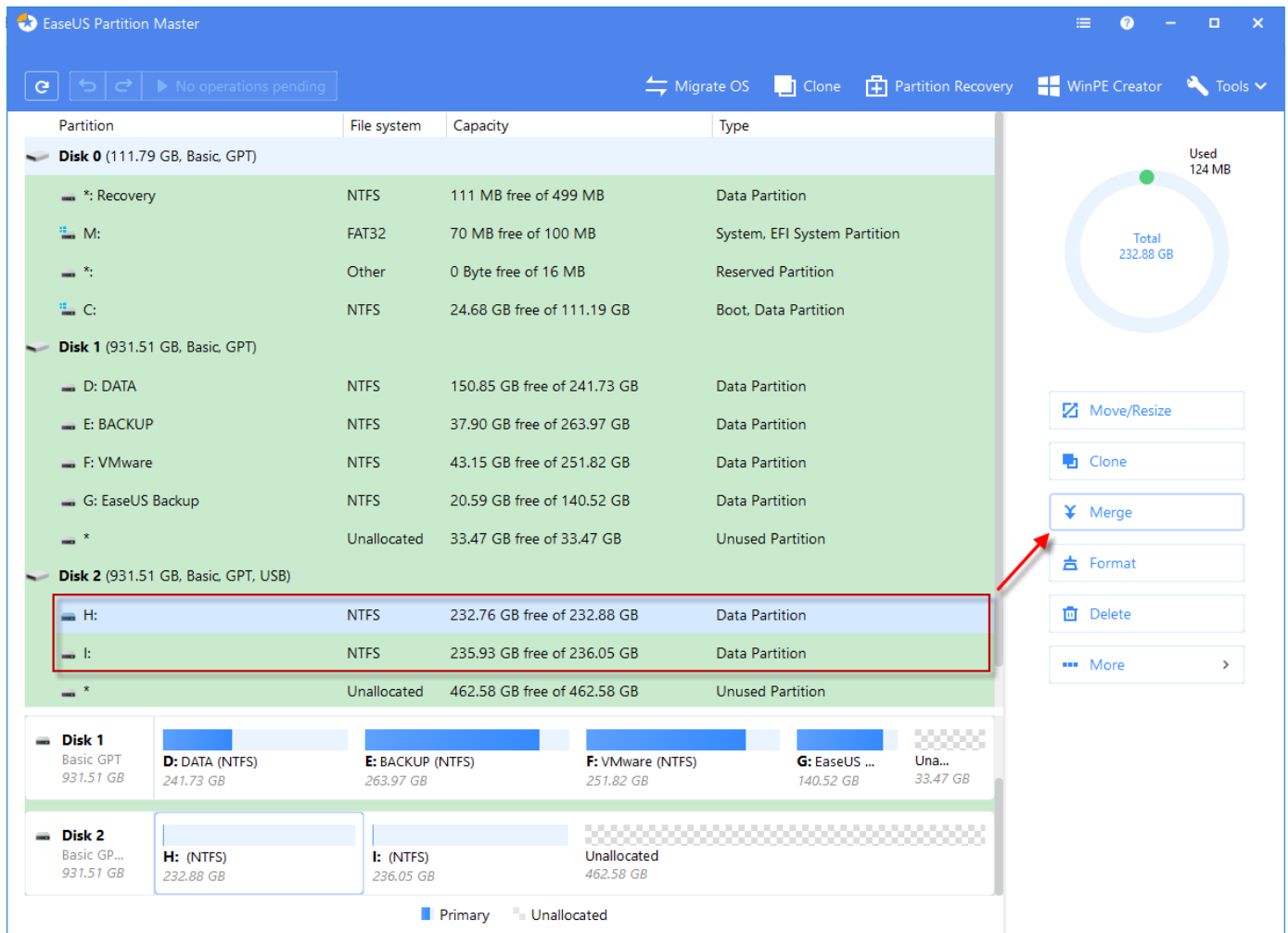
パーティションの移動方法:

1. パーティション/ボリュームを選択し、操作パネルの[サイズ調整/移動]をクリックします。
2. このパーティション/ボリュームをドラッグ&ドロップして、ポジションを決定します。
3. [OK]をクリックして保留中の操作リストに追加します。

パーティションのマージ

パーティションの容量が不足した場合、隣接するパーティションをマージして大容量パーティションに変換することができます。

本製品を使用してマージできるファイルシステムは、NTFS、ReFS、FAT12、FAT16、FAT32 です。より少ないデータパーティションの方をマージすることで素早く簡単に行うことができるので、マージする2つのパーティションを選択する順番は重要です。



The screenshot shows the EaseUS Partition Master interface. The main table lists partitions for three disks. Disk 2's H: and I: partitions are selected and highlighted with a red box. On the right, the 'Merge' button is highlighted with a red arrow. A circular progress indicator shows 'Total 232.88 GB' and 'Used 124 MB'.

Partition	File system	Capacity	Type
Disk 0 (111.79 GB, Basic, GPT)			
*: Recovery	NTFS	111 MB free of 499 MB	Data Partition
M:	FAT32	70 MB free of 100 MB	System, EFI System Partition
*:	Other	0 Byte free of 16 MB	Reserved Partition
C:	NTFS	24.68 GB free of 111.19 GB	Boot, Data Partition
Disk 1 (931.51 GB, Basic, GPT)			
D: DATA	NTFS	150.85 GB free of 241.73 GB	Data Partition
E: BACKUP	NTFS	37.90 GB free of 263.97 GB	Data Partition
F: VMware	NTFS	43.15 GB free of 251.82 GB	Data Partition
G: EaseUS Backup	NTFS	20.59 GB free of 140.52 GB	Data Partition
*	Unallocated	33.47 GB free of 33.47 GB	Unused Partition
Disk 2 (931.51 GB, Basic, GPT, USB)			
H:	NTFS	232.76 GB free of 232.88 GB	Data Partition
I:	NTFS	235.93 GB free of 236.05 GB	Data Partition
*	Unallocated	462.58 GB free of 462.58 GB	Unused Partition

Operations available on the right:

- Move/Resize
- Clone
- Merge
- Format
- Delete
- More

Summary of Disk 1 and Disk 2:

Disk	Partition	File System	Capacity
Disk 1 (Basic GPT, 931.51 GB)	D: DATA	NTFS	241.73 GB
	E: BACKUP	NTFS	263.97 GB
	F: VMware	NTFS	251.82 GB
	G: EaseUS ...	NTFS	140.52 GB
	Unallocated		33.47 GB
Disk 2 (Basic GP..., 931.51 GB)	H: (NTFS)		232.88 GB
	I: (NTFS)		236.05 GB
	Unallocated		462.58 GB

Legend: ■ Primary, ■ Unallocated

パーティションのマージ方法:

1. パーティションを選択し、操作パネルから[マージ]を選択します。そのとき、隣接するパーティションを選択してください。
2. 選択した 2 つのパーティションのうちの 1 つにスペースをマージします。
他のパーティションのすべてのコンテンツは、ジョイントされたパーティション上のフォルダに配置されます。
3. [OK]をクリックすると、保留中の操作リストに追加します。

ヒント:

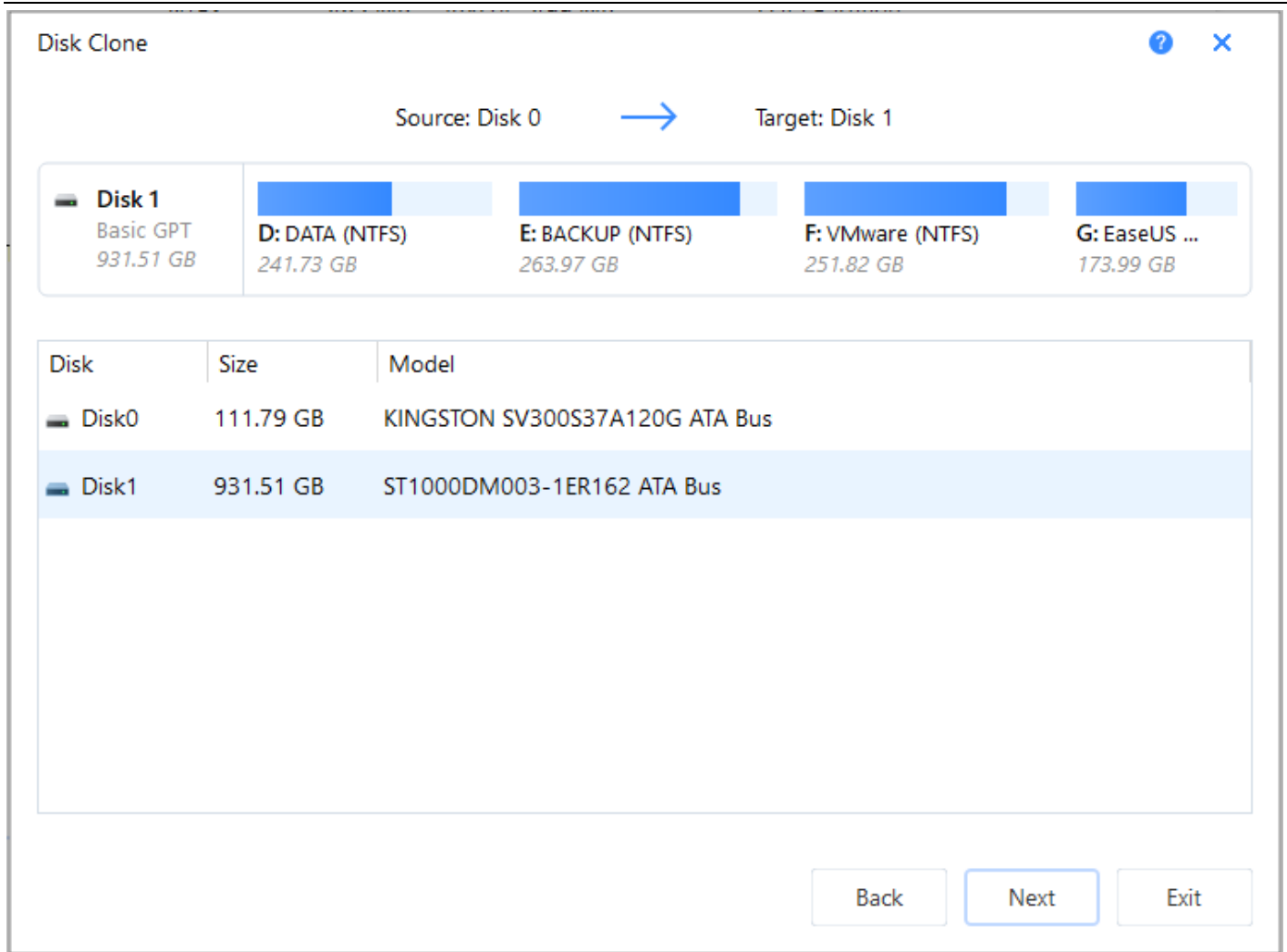
- 結合できるパーティションはベーシックディスク上のものに限られます。ダイナミックボリューム上のパーティションを結合することはできませんが、異なるクラスターサイズの NTFS パーティション同士を結合することができます。
- マージするパーティション同士は隣接している必要があります。つまり、マージ対象のパーティション同士の間に未割当領域を除く他のパーティションが存在していないことが条件になります。未割当領域があった場合は、結合したパーティションに含まれます。
- 隠しパーティションは結合できません。
- ブートパーティション、システムパーティション、および本製品がインストールされているパーティションは、他のパーティションと結合することはできません。
- パーティション全体の容量のうち 5%以上は未使用のままにしてください。
- FAT 16 パーティションと FAT 32 パーティション、もしくは FAT 16 パーティション同士を結合した場合、結合後のパーティションは FAT 32 になります。
- NTFS を FAT パーティションに結合することはできません。

コピー操作

ディスククローン

ディスククローンは選択したハードディスクのすべてのデータ(オペレーティングシステム、プログラム含む)を転送します。スムーズにクローン操作するため、転送先ディスクの許容量が転送元のディスクよりも大きい事をご確認ください。

- 12 -



ディスクのコピー方法:

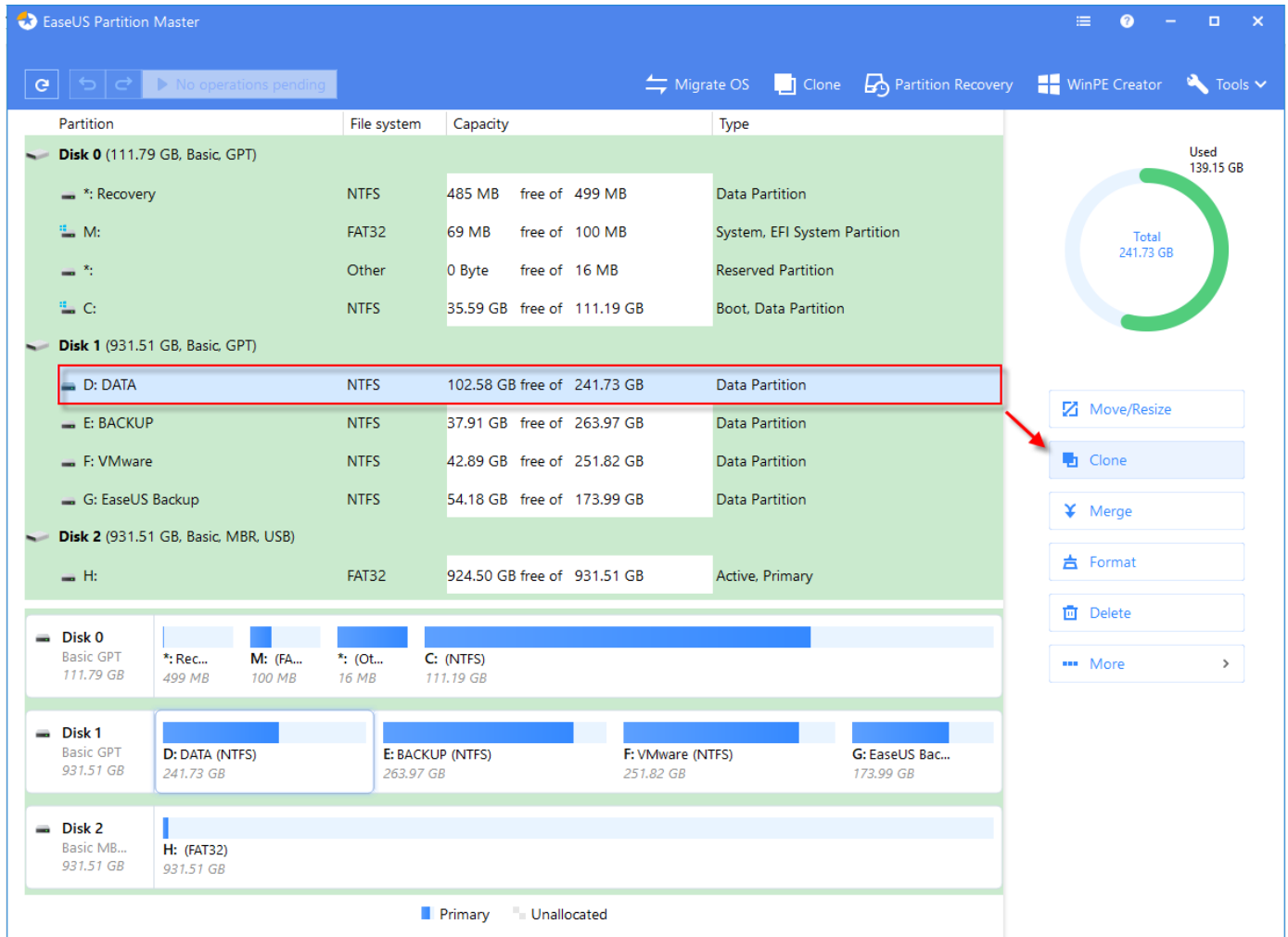
1. 転送するディスクを選択します。
2. [クローン]をクリックします。
3. 転送先のディスクを選択します。
4. 転送先ディスクから削除するパーティションとデータを確認します。
5. 転送先ディスクのパーティションサイズを編集して、[OK]をクリックしてクローンを開始します。

ヒント:

- 対象ディスクから Windows を起動できるようにするために次の項目にご注意ください。
 1. ディスクのコピー完了後は PC をシャットダウンして転送元ディスクを取り外してください。
 2. 転送先ディスクを転送元ディスクが接続されていたソケットに接続し、起動してください。
- ディスクのコピー完了後は転送先ディスクから直接 PC を起動しないでください。
- 転送先ディスクのすべてのパーティションとデータは上書きされます。

パーティションコピー

パーティションを未割当領域にコピーすることでデータをバックアップできます。



パーティション/ボリュームをコピーする方法:

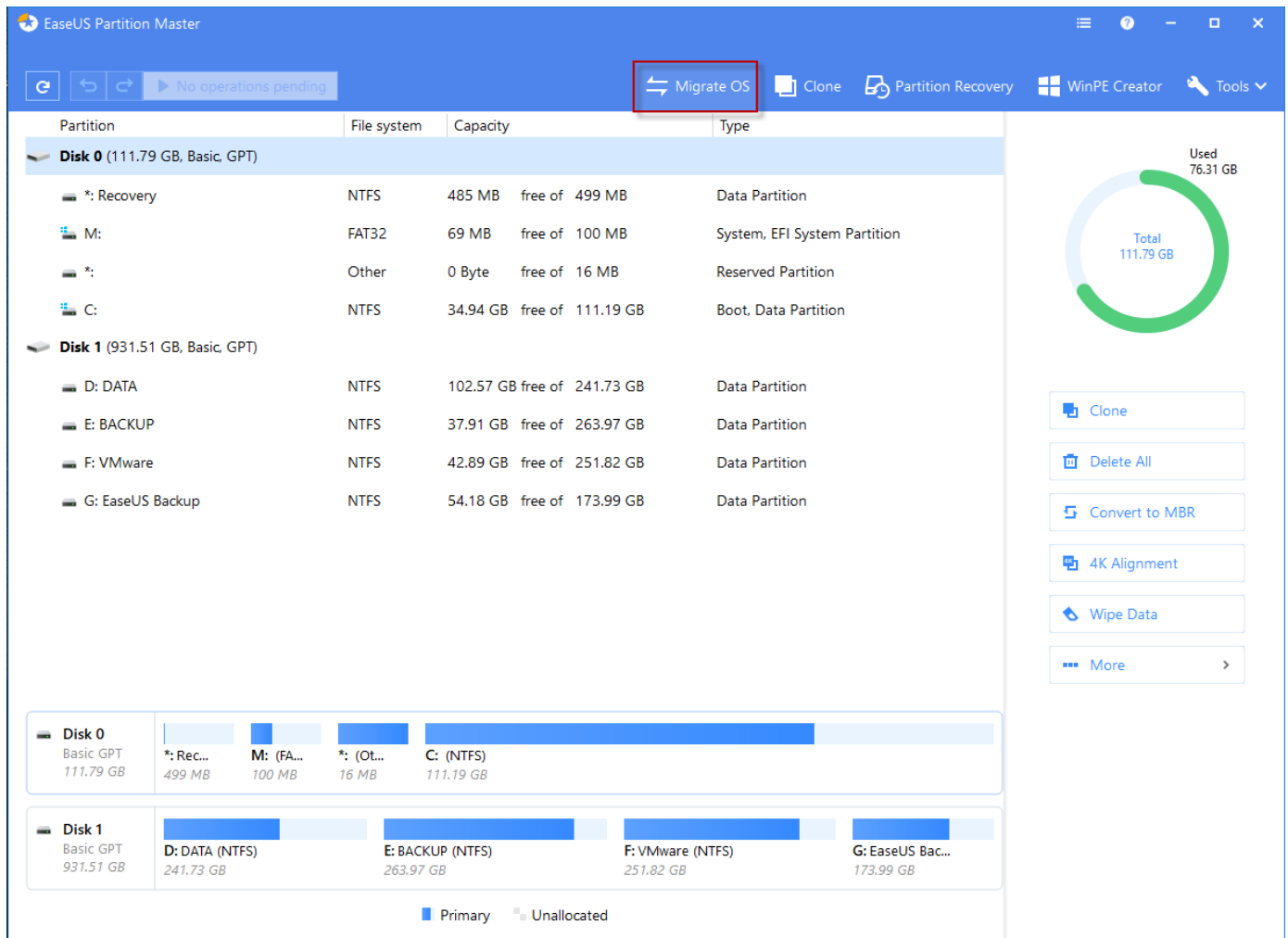
1. ソースパーティション/ボリュームを選択して、操作パネルの[クローン]をクリックしてください。
2. 未割当スペースを対象パーティションとして選択します。
3. 対象パーティションのサイズを編集して[OK]をクリックし、クローン操作を始めます。

ヒント:

- GPT ディスクにオペレーションシステムを含むパーティションでは、この操作はできません。
- ダイナミックボリュームは、ベーシックディスクの未割当スペースにしかコピーできません。

OS の移行

OS 移行の機能を用いて、OS を新しい HDD/SSD に簡単にコピーすることができます。この機能では、対象ディスクが操作後に正確に起動されるよう、自動で起動・システムパーティションが選択されます。



OS の移行方法:

1. ツールバーの[OS を移行]をクリックします。
2. 移行先ディスクを選択します。
3. 移行先ディスクのパーティションサイズを編集します。
4. [OK]をクリックしてクローンを開始します。

ヒント:

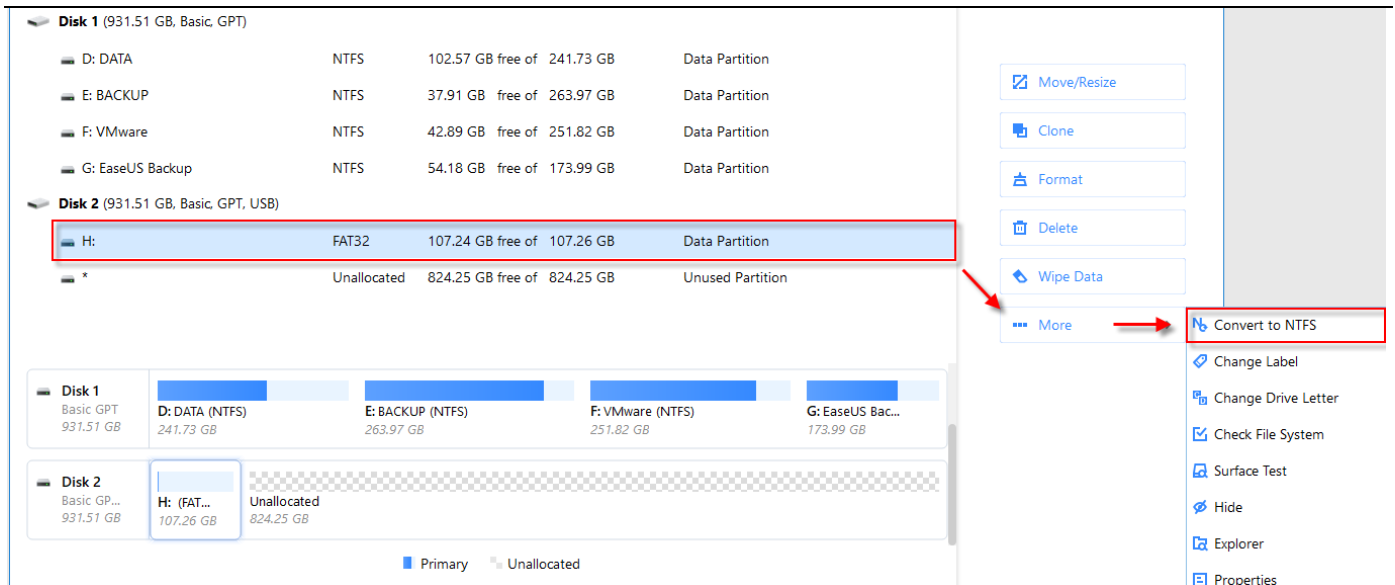
- この機能は、WinPE 緊急ディスクでは利用できません。
- この操作はシステム・ブートパーティションが同じディスクにある時のみ利用可能です。
- 移行先ドライブのすべてのパーティションは上書きされます。

変換操作

FAT パーティションから NTFS パーティションに変換

FAT に代わり NTFS が Windows OS における推奨ファイルシステムとなり、FAT や HPFS (High Performance File System) にはなかった改良点が追加されています。

EaseUS Partition Master User Guide



ファイルシステムを変換する方法:

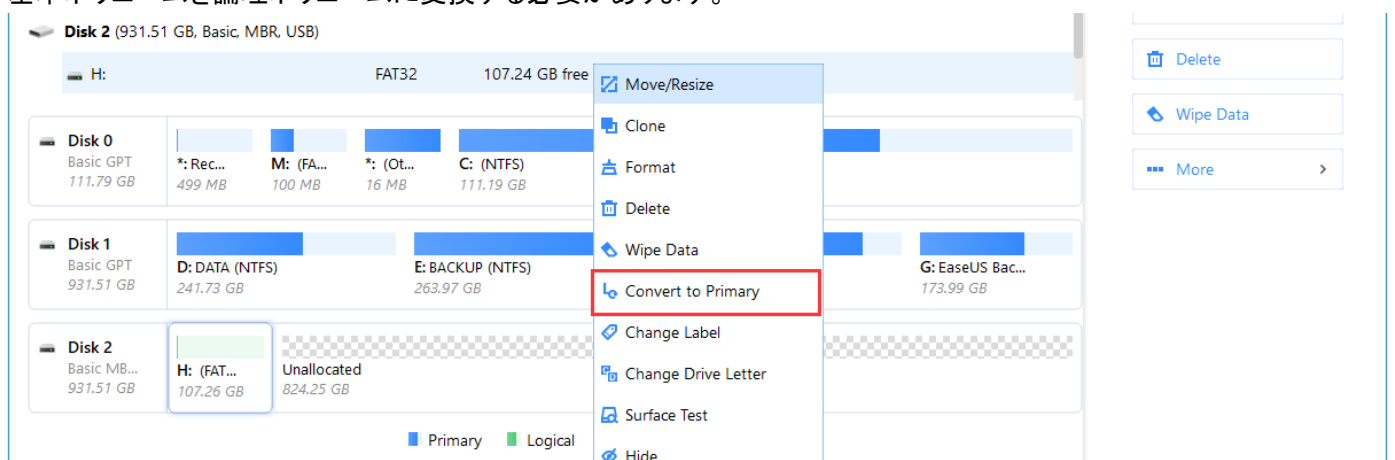
1. 「FAT12/16/32」パーティションを選択します。
2. [その他] > [NTFS へ変換]
3. 変換前と変換先ファイルシステムを表示するポップアップダイアログが起動します。[OK]をクリックして続けてください。

ヒント:

- ソースファイルは FAT12、FAT16 もしくは FAT32 でなければなりません。また、隠しパーティションには本機能はご利用いただけません。
- パーティション内で 3%以上の空き領域を確保してください。

基本ボリュームから論理ボリュームに変換

ベーシック MBR ディスクでは最大 4 個の基本ボリューム、もしくは 3 個の基本ボリュームと論理ボリュームを無限に設定することができます。既存の基本ボリュームが 4 個設定されているディスクに 5 個目のボリュームを設定する場合は基本ボリュームを論理ボリュームに変換する必要があります。



基本ボリュームを論理ボリュームに変換する方法:

1. 変換する基本ボリュームを右クリックして[論理ディスクに変換]をクリックします。

2. **[適用]**をクリックして実行します。**[適用]**をクリックせずにプログラムを終了した場合、保留中の操作は破棄されます。

ヒント:

- ブートボリュームもしくはシステムボリュームを論理ボリュームに変換することはできません(PC が起動できなくなります)。
- 追加情報が記録されるため変換前後でボリュームの容量が若干変化することがあります。

論理ボリュームから基本ボリュームに変換

論理ボリュームを基本ボリュームに変換する方法:

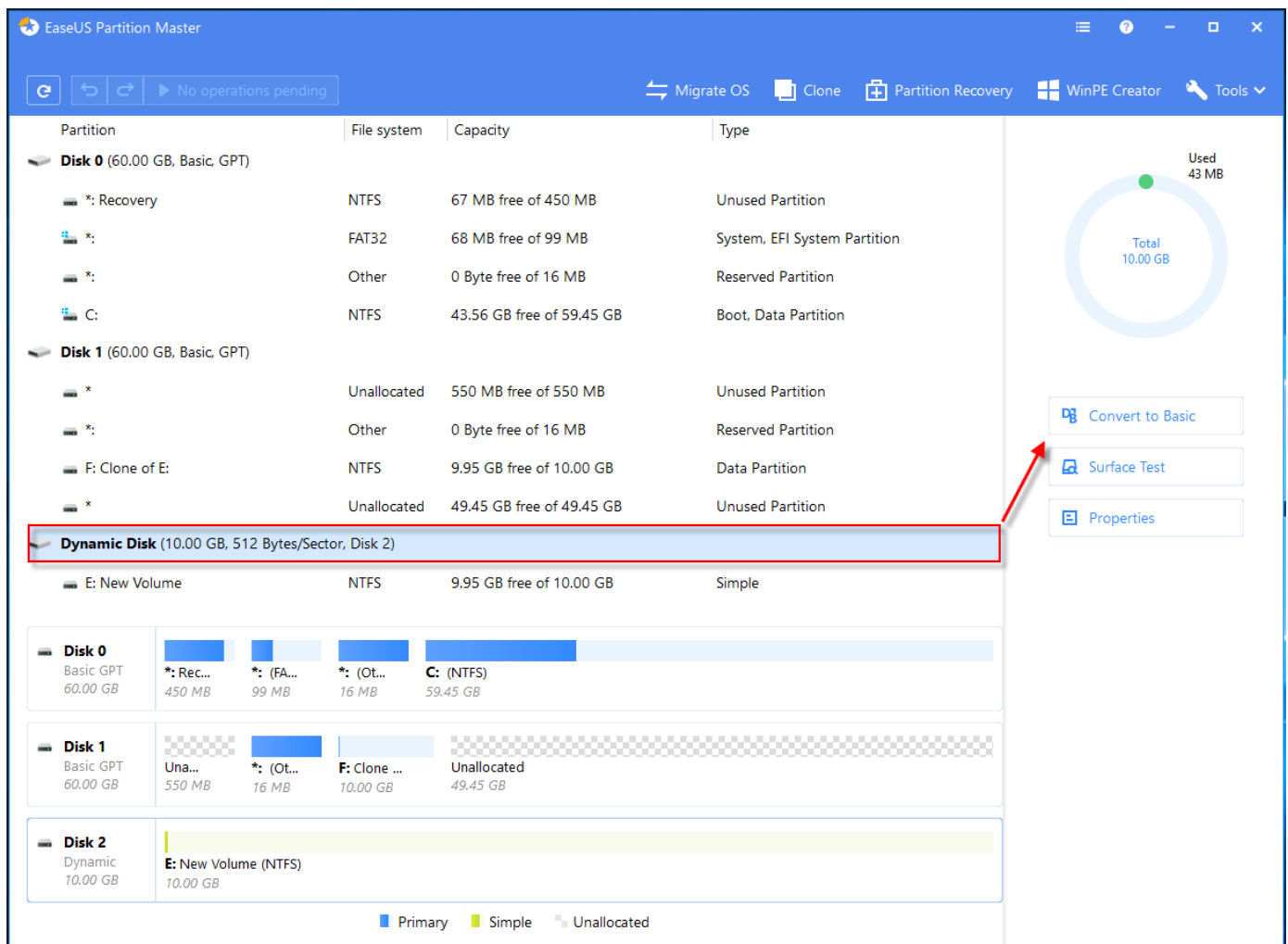
1. 変換する論理ボリュームを右クリックし、**[基本ディスクに変換]**をクリックします。
2. **[OK]**をクリックして保留中の操作リストに追加します。準備ができたなら、**[適用]**をクリックして実行してください。

ヒント:

- ベーシック MBR ディスクでは最大 4 個の基本ボリューム、もしくは 3 個の基本ボリュームと連続する論理ボリュームを設定することができます。
- ディスク上に 2 個以下の基本パーティションがある場合、同ディスク上に 1 個以上の論理パーティションがあれば、論理ボリュームから基本ボリュームに変換することが可能です。

ダイナミックディスクからベーシックディスクに変換

この操作によってシンプルボリュームもしくはミラーボリュームを設定したダイナミックディスクを、データを残したままベーシックディスクに変換することができます。



ダイナミックディスクからベーシックディスクに変換する方法:

1. ダイナミックディスクを選択します。
2. メインメニューの[ベーシックディスクに変換]をクリックします。
3. 保留中の操作リストに追加します。

ダイナミックディスクを変換後は以下の場合を除き、全てのダイナミックボリュームが論理パーティションに変換されます。:

1. ボリューム上で一時データを変換するための領域が不足していた場合(ボリュームの空き領域が5%以下で、なおかつ隣接する未割当領域もなかった場合)、そのボリュームはプライマリパーティションに変換されます。しかし、MBR ベーシックディスクに設定できるプライマリパーティションの上限(4 個)との関連で上記操作を行うことができない場合、ディスクは変換されません。
2. ボリュームのファイルシステムが FAT もしくは NTFS 以外の場合でボリュームに隣接する未割当領域がない場合はプライマリパーティションに変換されます。この条件に該当するボリュームが4 個以上ある場合、ダイナミックディスクをベーシックディスクに変換することはできません。

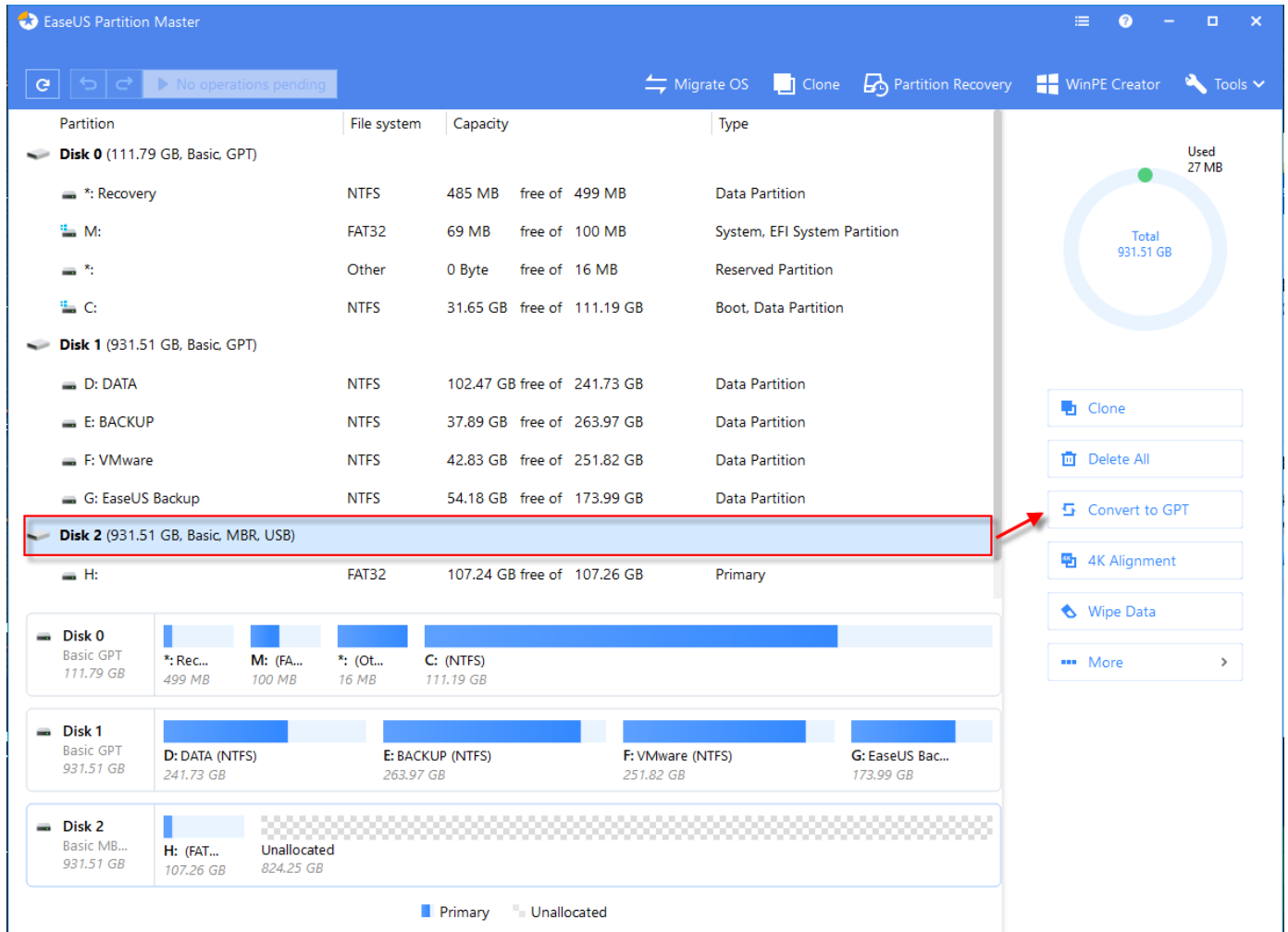
ヒント:

- 本機能を使用して変換できるダイナミックディスクはシンプルボリュームもしくはミラーボリュームが設定されたものに限られます。それ以外のスパンボリューム、ストライプボリュームの場合は変換できません。
- ミラーボリュームを設定したダイナミックディスクはミラーボリュームを解除してから変換してください。

➤ ダイナミックディスクからベーシックディスクへの変換工程でデータ紛失は起きないと思われませんが、その他の原因によるデータ紛失を避けるため、どんな操作の前でもバックアップをとることを推奨します。

MBR ディスクから GPT ディスクに変換

この操作によってデータを失うことなく MBR ディスクを GPT ディスクに変換することができます。MBR ディスクはハードディスク上で最大 2TB しか設定できません。2TB 以上のハードディスクでより多くの領域を使用する場合は MBR ディスクから GPT ディスクに変換することで容量を拡張することができます。



MBR ディスクから GPT ディスクに変換する方法:

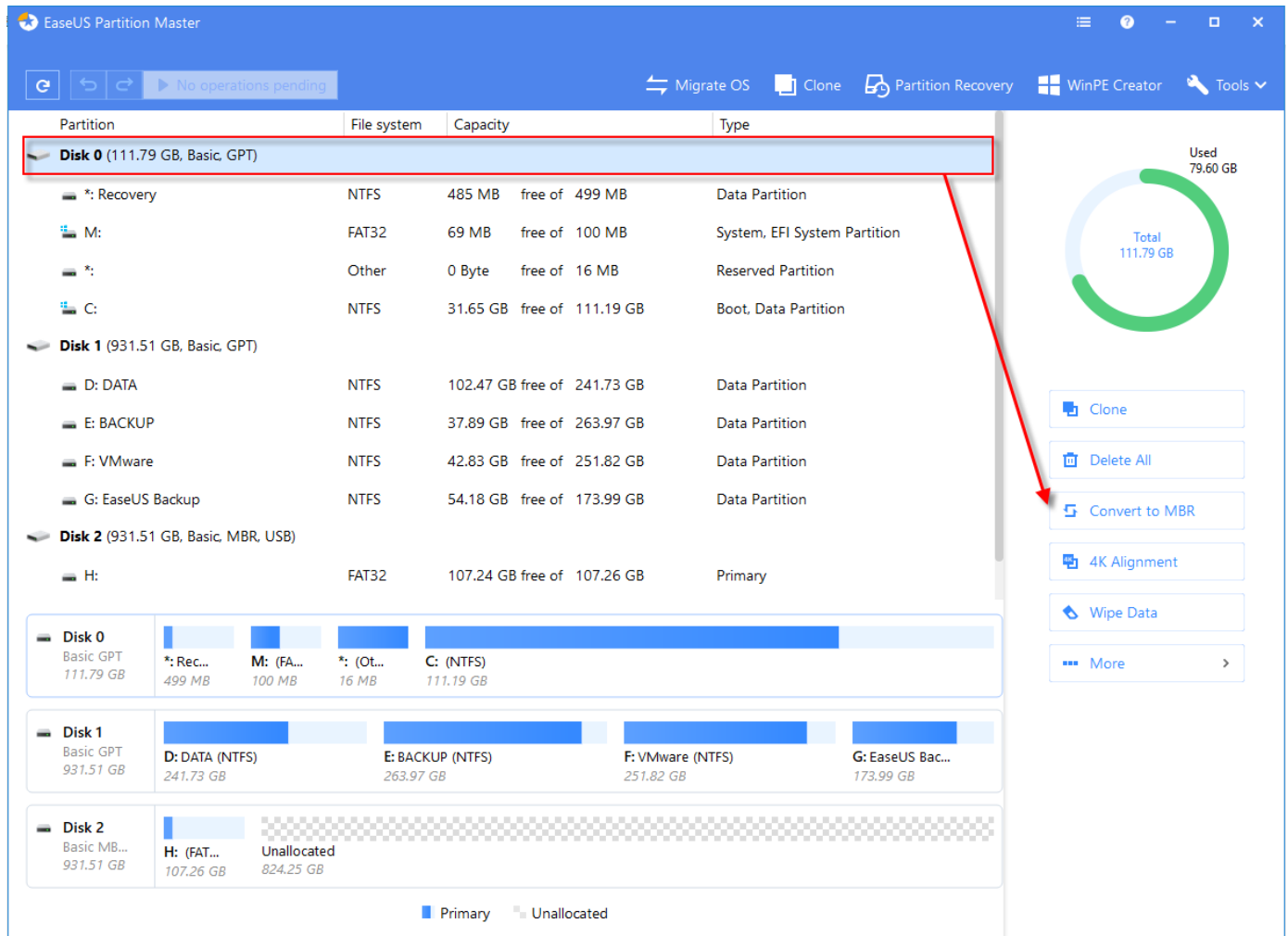
1. MBR ディスクを選択します。
2. メインメニューで[GPT へ変換]をクリックします。
3. 保留中の操作リストに追加されます。

ヒント:

1. この機能はダイナミックディスクからの変換には直接ご利用いただくことはできませんが、ダイナミックディスクを一旦ベーシックディスクに変換してから作業することができます。
2. システム GPT ディスクは UEFI モードでしか起動できませんので、ディスクを GPT に変換する前に、オペレーティングシステムとマザーボードが UEFI モードから起動しているが確認してください。

GPT ディスクから MBR ディスクに変換

この操作によってデータを失うことなく GPT ディスクを MBR ディスクに変換することができます。



GPT ディスクを MBR ディスクに変換する方法：

1. GPT ディスクを選択します。
2. メインメニューで **[MBR へ変換]** をクリックします。
3. 保留中の操作に追加されます。

ヒント：

1. この機能はダイナミックディスクからの変換には直接ご利用いただくことはできませんが、ダイナミックディスクを一旦ベーシックディスクに変換してから作業することができます。
2. システムディスクの場合は、マザーボードが BIOS モードから起動できることをご確認ください。

操作を削除

全て削除

選択したハードドライブ上のすべてのパーティションを簡単に削除することができます。操作前にディスクに重要なデータがないかをご確認ください。

The screenshot shows the EaseUS Partition Master application window. The main table lists partitions for three disks. Disk 2 is selected and highlighted with a red box. On the right side, a vertical toolbar contains several action buttons, with 'Delete All' highlighted by a red arrow.

Partition	File system	Capacity	Type
*: Recovery	NTFS	485 MB free of 499 MB	Data Partition
M:	FAT32	69 MB free of 100 MB	System, EFI System Partition
*:	Other	0 Byte free of 16 MB	Reserved Partition
C:	NTFS	31.65 GB free of 111.19 GB	Boot, Data Partition
Disk 1 (931.51 GB, Basic, GPT)			
D: DATA	NTFS	102.47 GB free of 241.73 GB	Data Partition
E: BACKUP	NTFS	37.89 GB free of 263.97 GB	Data Partition
F: VMware	NTFS	42.83 GB free of 251.82 GB	Data Partition
G: EaseUS Backup	NTFS	54.18 GB free of 173.99 GB	Data Partition
Disk 2 (931.51 GB, Basic, MBR, USB)			
H:	FAT32	107.24 GB free of 107.26 GB	Primary
*	Unallocated	824.25 GB free of 824.25 GB	Logical

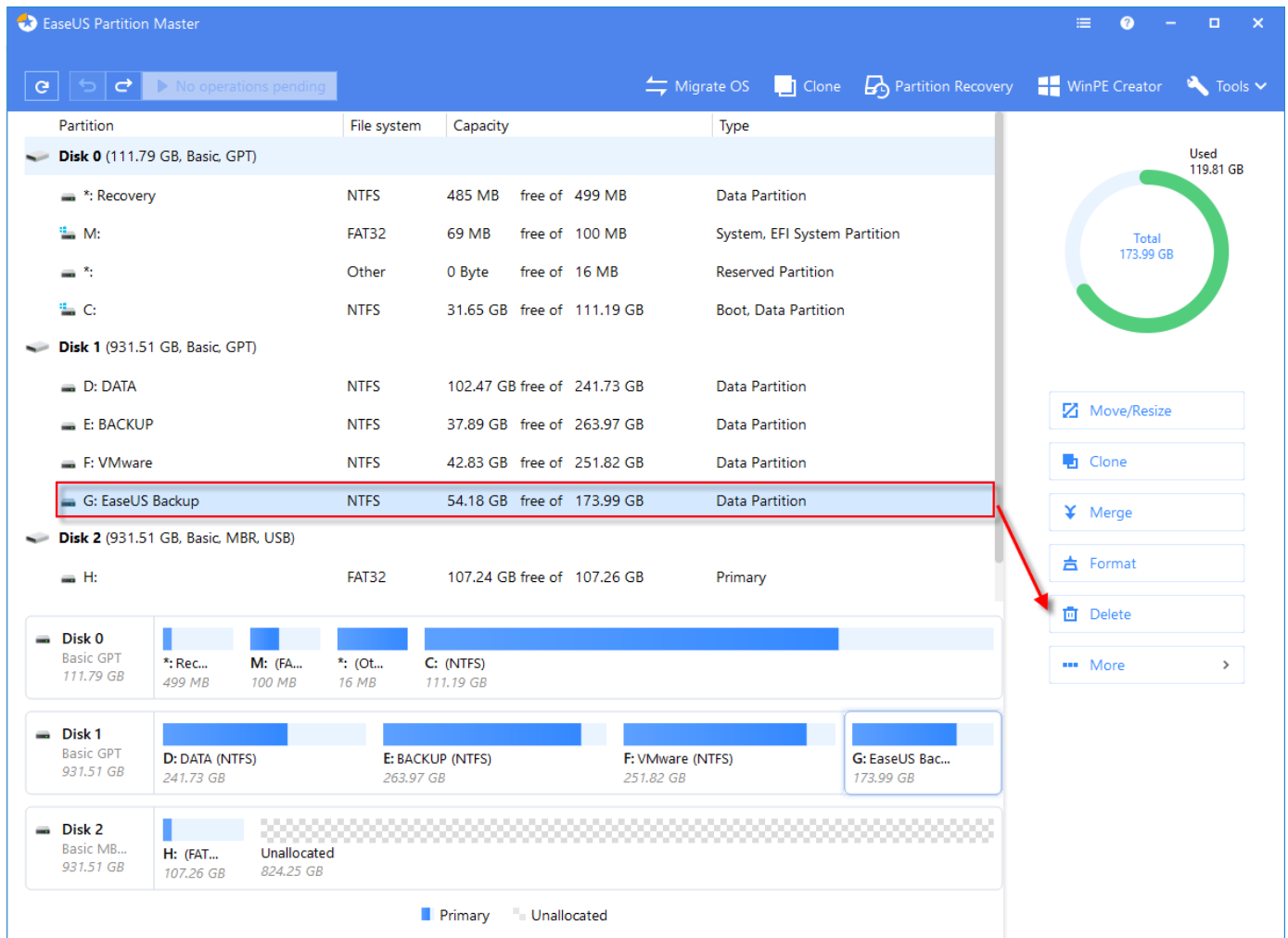
On the right side, the 'Delete All' button is highlighted with a red arrow. Other buttons visible include Clone, Convert to GPT, 4K Alignment, Wipe Data, and More.

すべてのパーティションを削除する方法:

1. ハードドライブを選択します。
2. メインメニューで[すべて削除]をクリックします。
3. 保留中の操作リストに追加されます。

パーティションを削除

選択したパーティションを削除することができます。



パーティションを削除する方法:

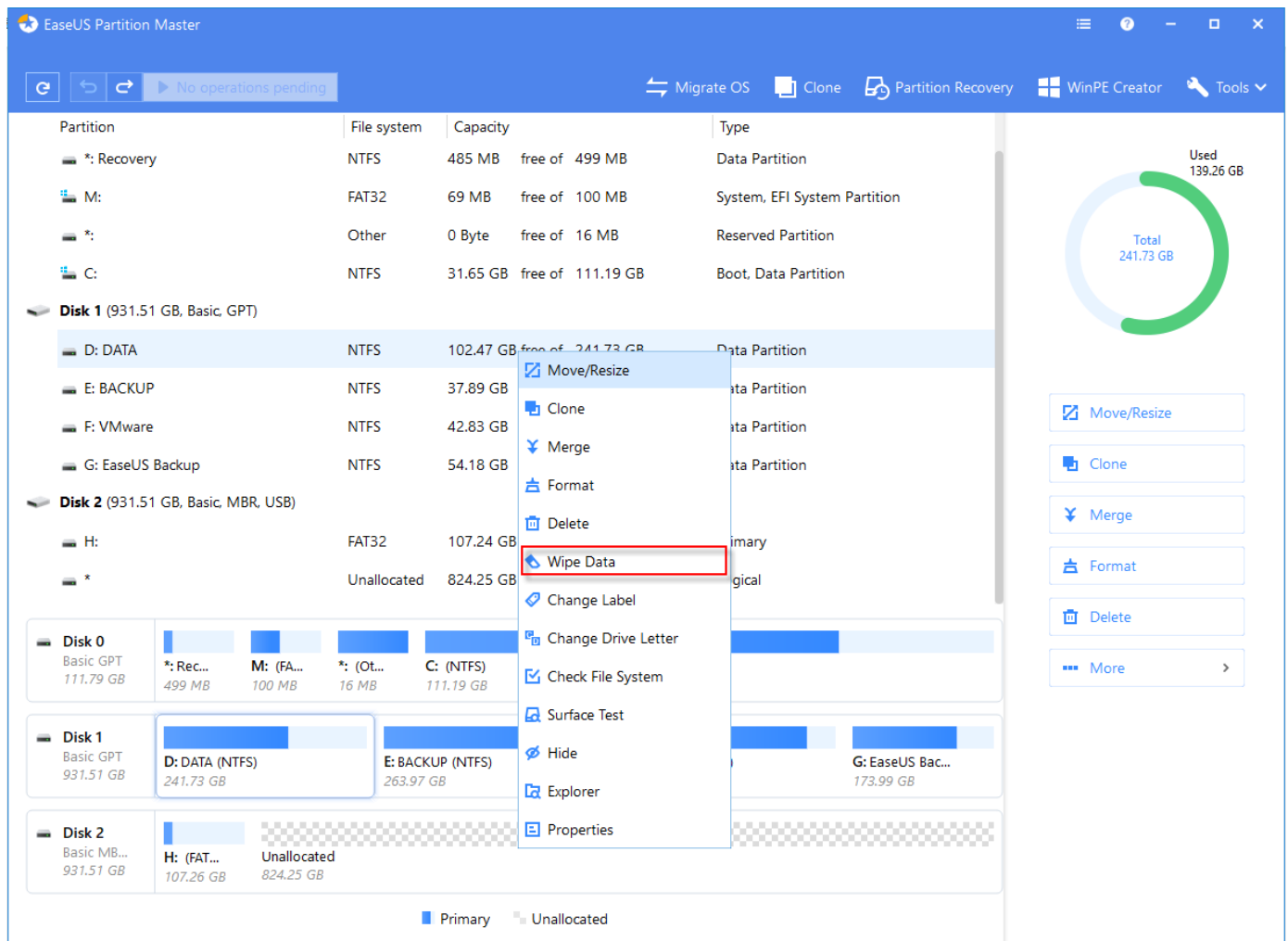
1. パーティションを選択します。
2. メインメニューで[削除]をクリックします。
3. 保留中の操作に追加されます。

ヒント:

- システムとブートパーティションは削除できません。削除してしまうと、PC を起動できなくなります。
- パーティション削除後、そのパーティションに保存されていたデータにアクセスすることは できなくなります。

パーティションやディスク上のデータを消去する

選択したパーティション/ディスク/未割当領域のすべてのデータを消去することができます。基本的に消去されたデータを復元することはできません。



データを消去する方法:

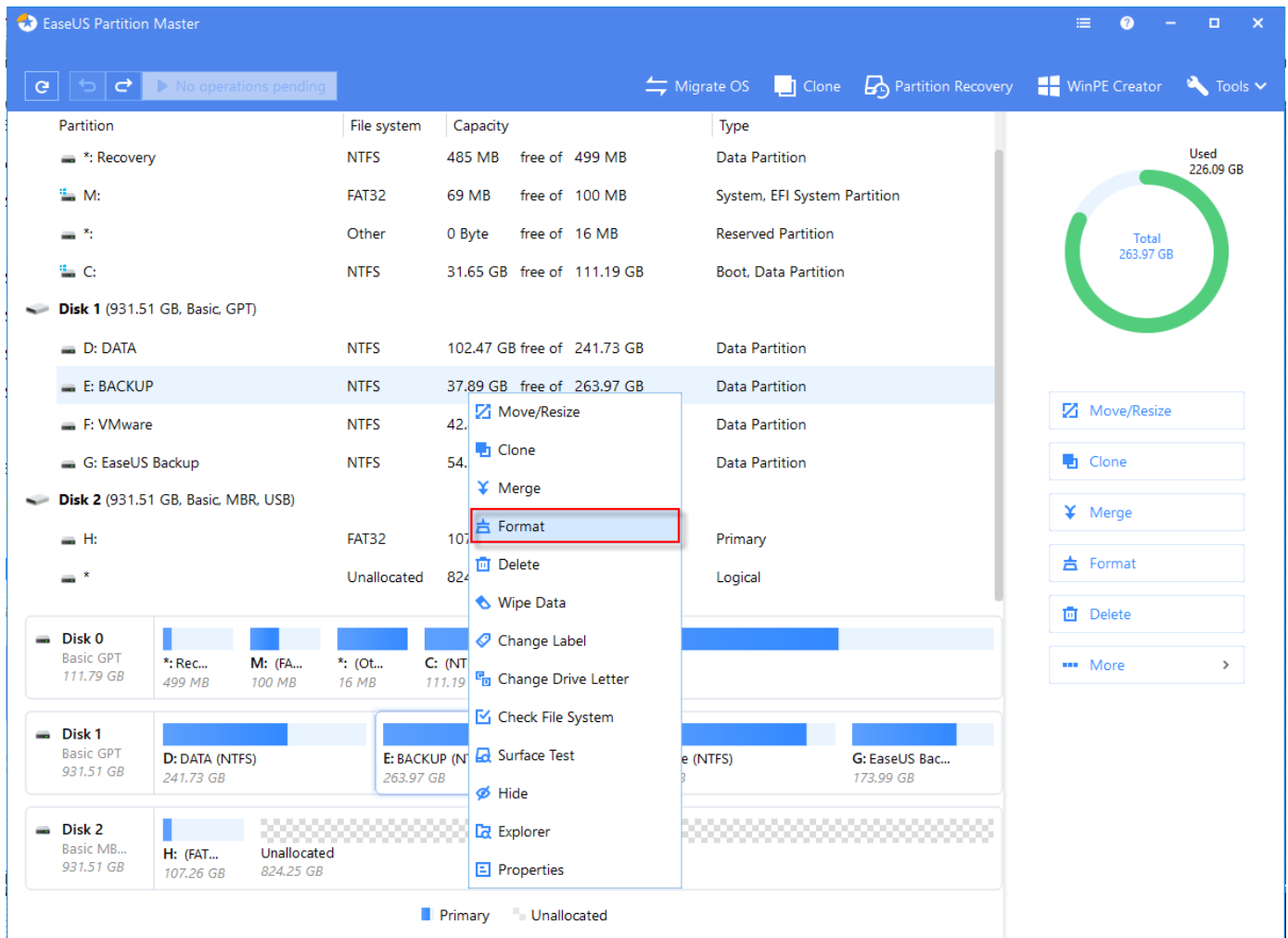
1. ディスク/パーティション(ボリューム)/未割当領域を選択します。
2. 右クリックをして、[データ消去]を選択します。
3. ワイプディスク/パーティションウィンドウでパーティションを消去する回数を設定します(消去アルゴリズムは、消去時間に応じてディスクを 0x00 とランダムな数字で交互に上書きします)。
4. [OK]をクリックすると、保留中の操作リストに追加されます。

パーティションのフォーマット

データ保存をおこなうため、パーティションには 1 種類以上のフォーマットが設定されています。ファイルシステムを設定することをフォーマットと呼びます。ここでは、既存パーティションのフォーマット方法を説明します。

本製品は次にあげるファイルシステムにフォーマットすることができます:

FAT12, FAT16, FAT32, NTFS, ReFS, Ext2, Ext3,



パーティションのフォーマット方法:

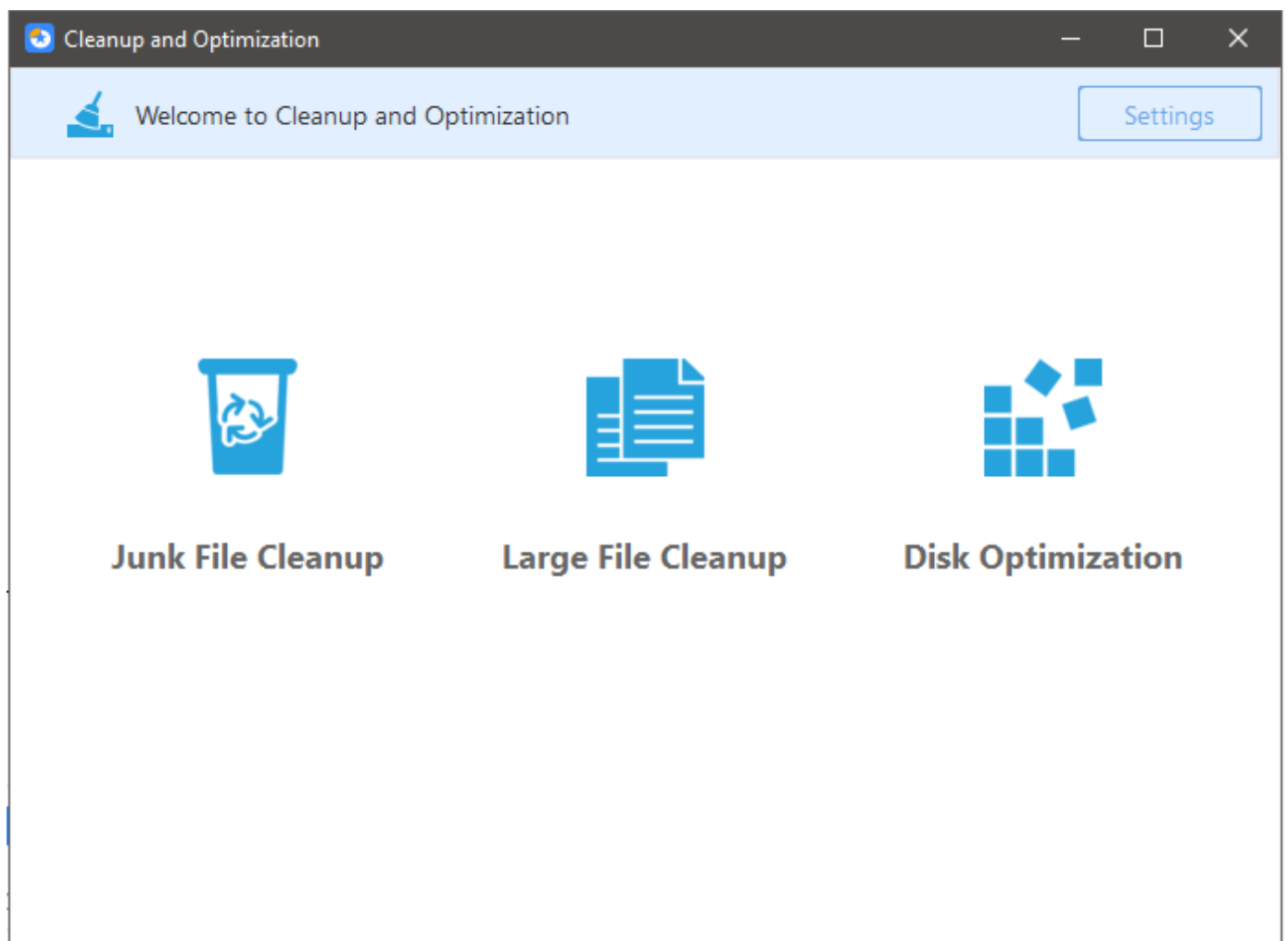
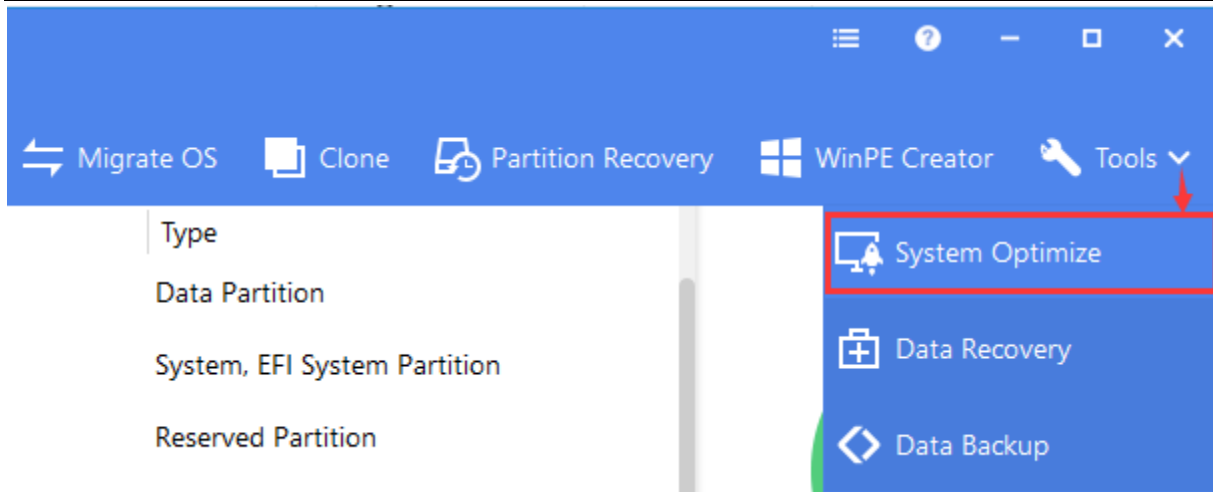
1. パーティションを選択します。
2. 右クリックして、[データを消去]を選択します。
3. パーティションラベルを入力します。
4. ファイルシステムのドロップダウンメニューからフォーマット後のファイルシステムを選択 します。ドロップダウンからクラスタサイズを選択します。(512 byte, 1,2,4...64KB)
5. [OK]をクリックして保留中の操作リストに追加します。

ヒント:

- クラスタサイズを小さくするとディスク領域を有効活用できます。
- パーティションをフォーマットした場合、ファイルやフォルダーを含む全てのデータが消去されてしまいますので、特にご注意ください。

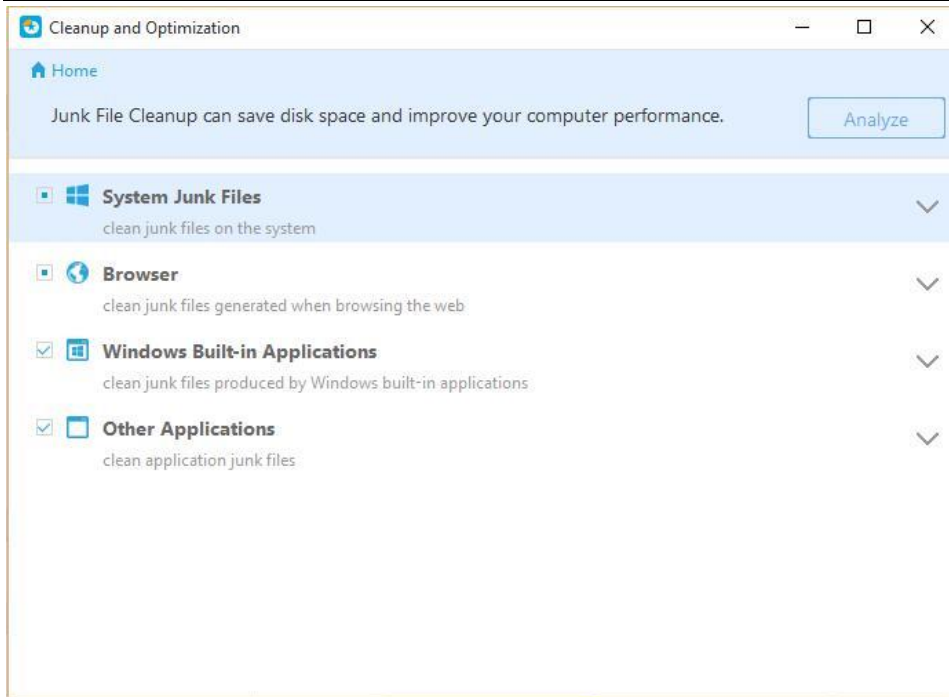
クリーンアップと最適化

「クリーンアップと最適化」は、システムから不要なファイルやインターネット履歴を削除し、システムをクリーンで快適に保つツールです。



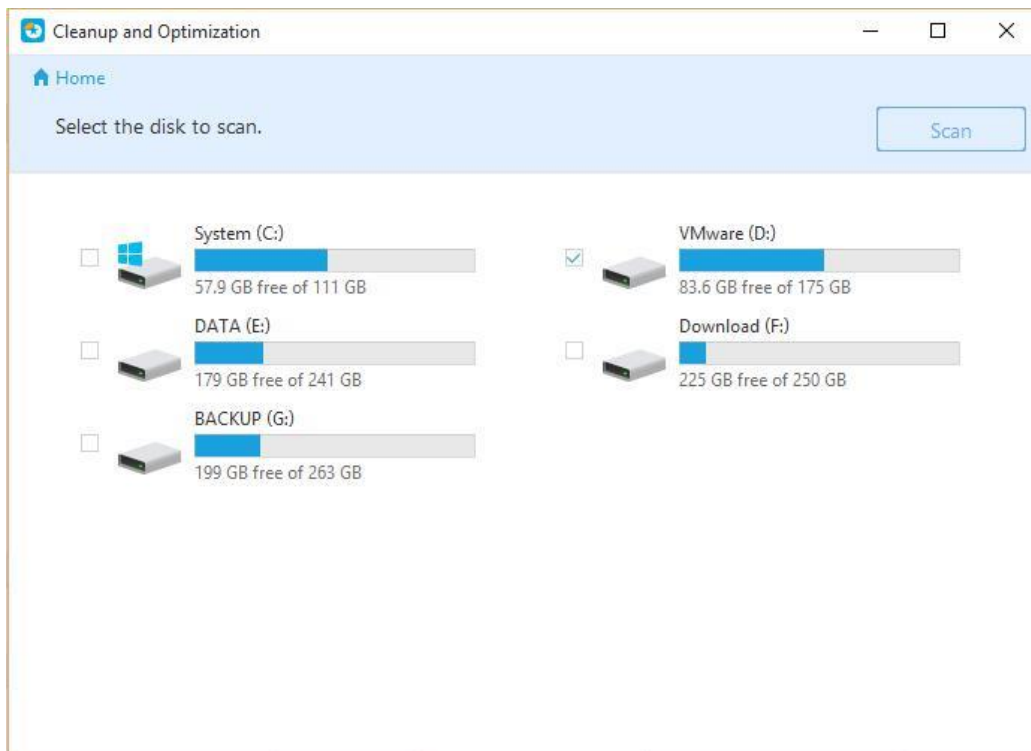
ジャンクファイルクリーン

「ジャンクファイルクリーン」はシステム、ブラウザー、Windows ビルトインアプリ、その他の アプリ等からジャンクファイルを削除し、ディスク領域の確保とパフォーマンスの向上を図ります。



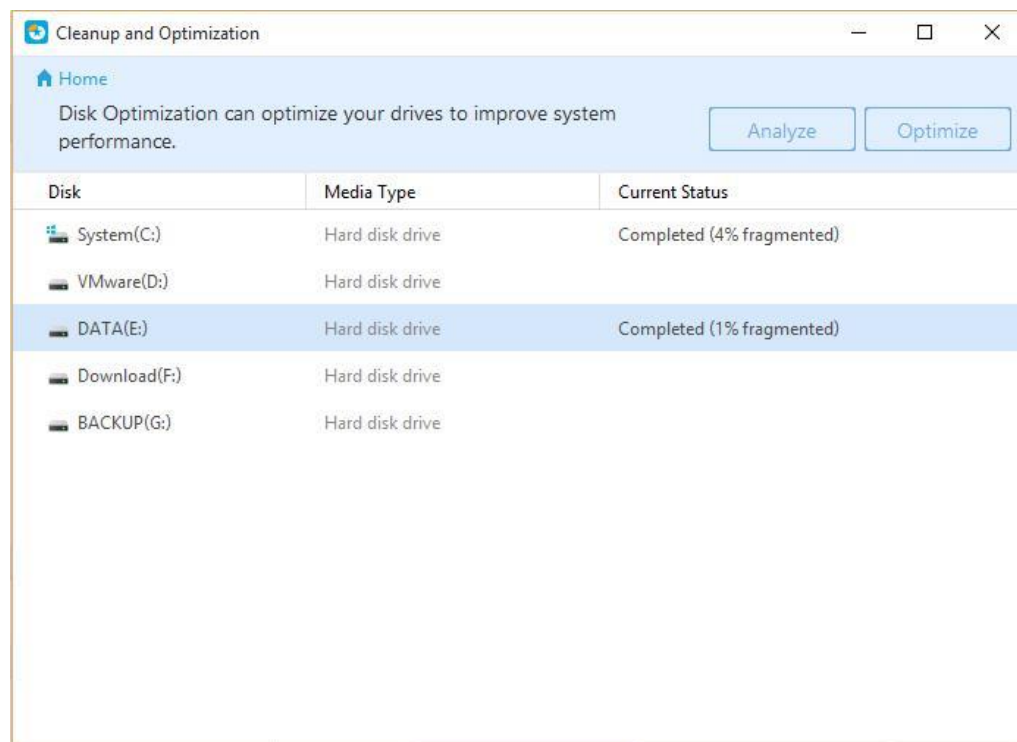
大容量ファイルクリーンアップ

ハードディスクの容量が不足してきたら「大容量ファイルクリーンアップ」を行いましょう。ファイル容量が大きいディスクから行うのが効果的です。



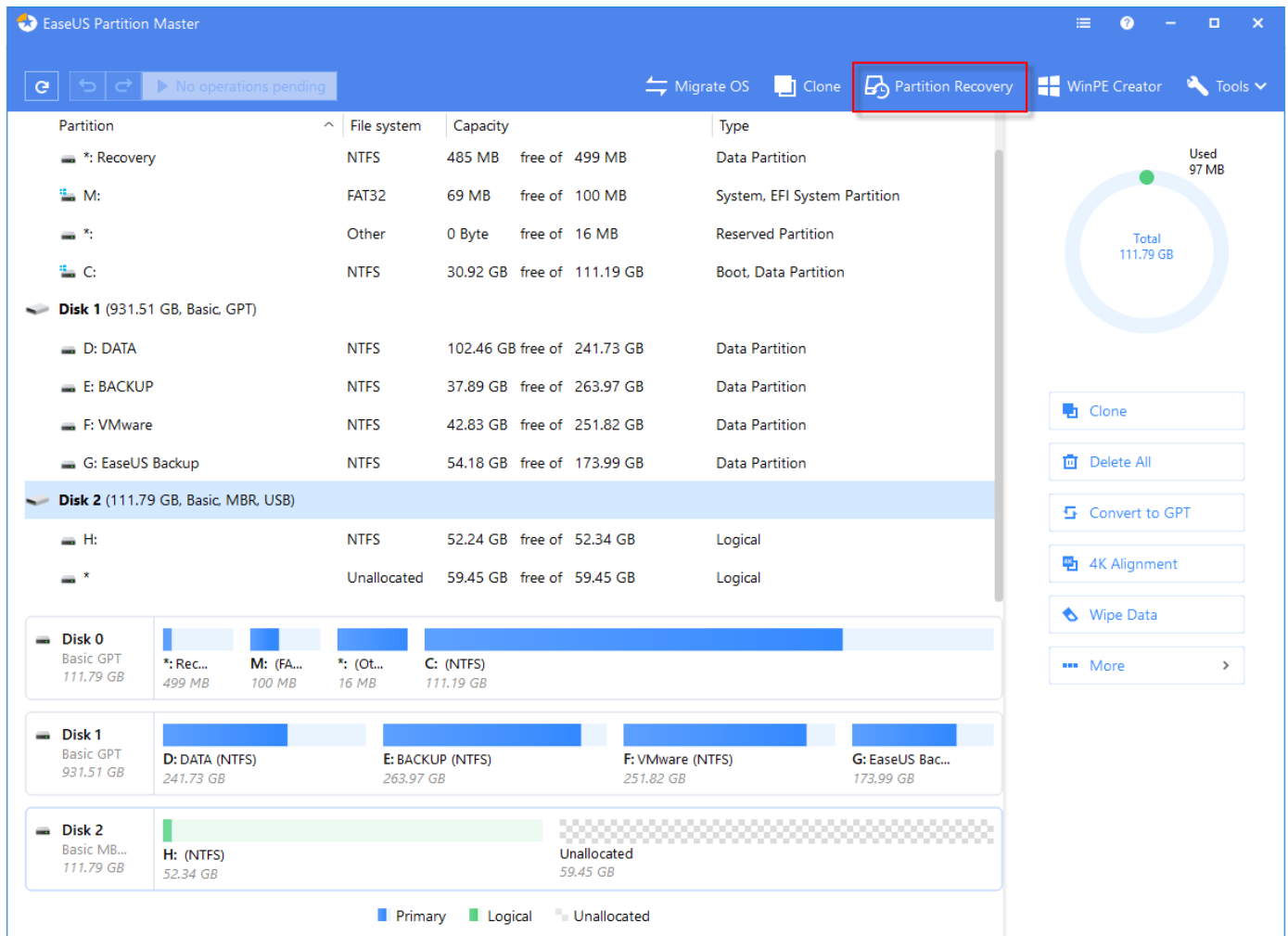
ディスク最適化

「ディスクの最適化」は、データの断片化を改善することでディスクのパフォーマンスを向上させます。



パーティション復元

パーティション復元を使用すれば、ハードウェアやソフトウェアの不具合によって破損したパーティションを簡単な操作で復元することができます。

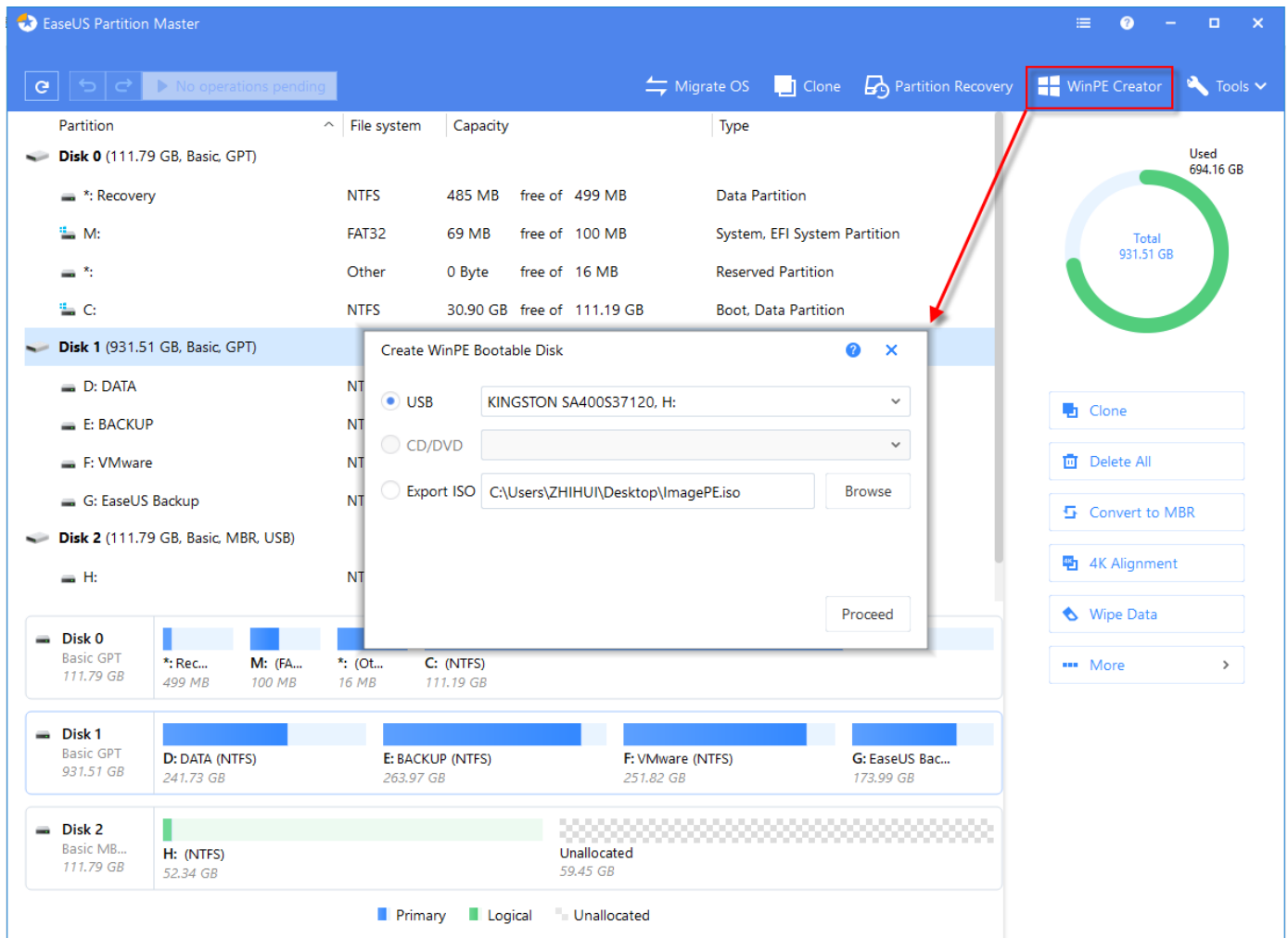


パーティション復元の実行方法

1. ツールバーにある[パーティション復元]をクリックします。
2. データを復元したいディスクを選択します。
3. [スキャン]をクリックしてハードドライブをスキャンします。
4. スキャンが完了すると、すべての削除されたパーティションが検出されます。
5. 復元したパーティションを選択して、[復元]をクリックします。
6. ハードディスクに復元されたパーティションが表示されます。

WinPE Creator

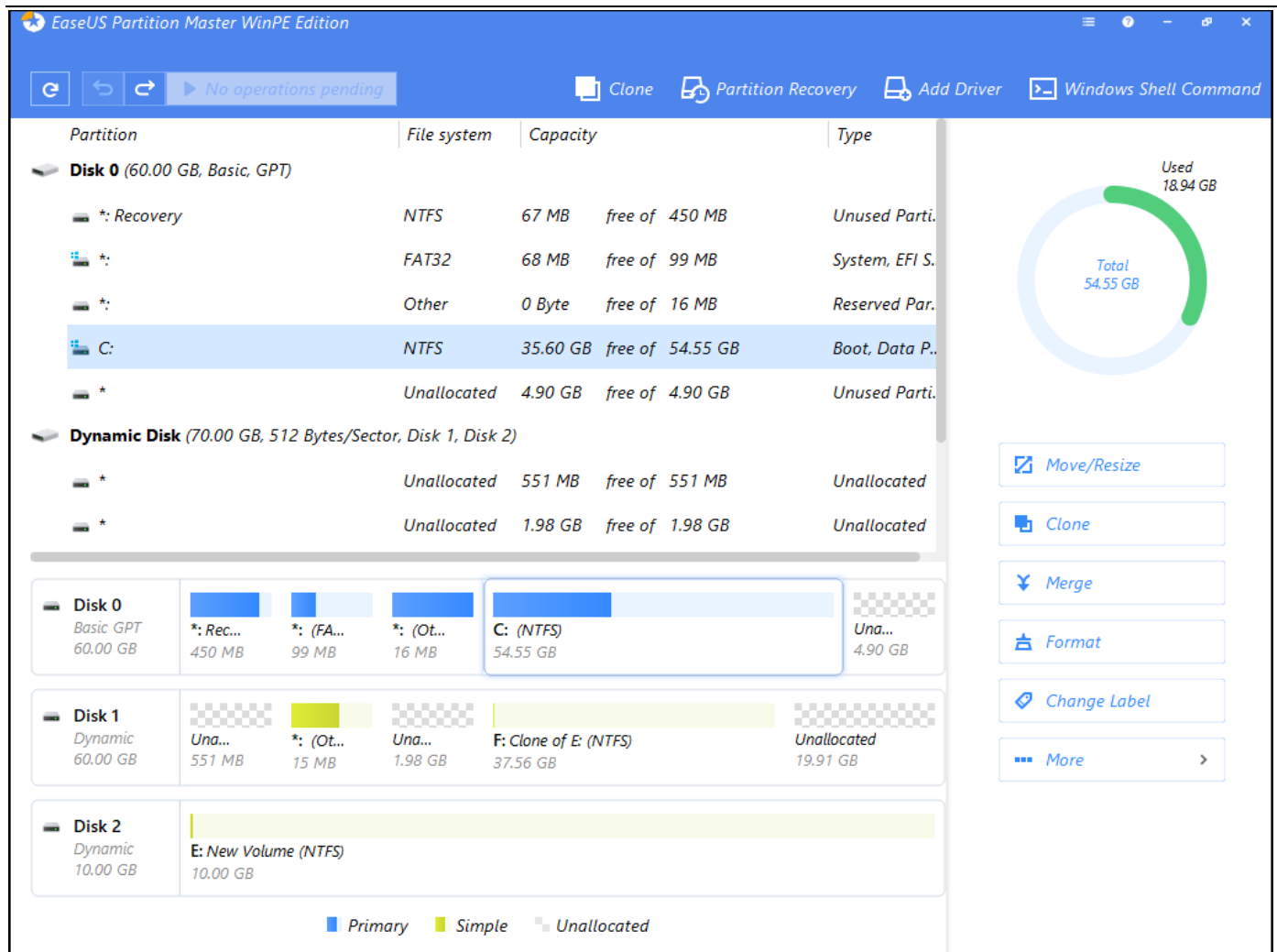
本製品では、USBドライブ/ CD / DVD または ISO ファイルで WinPE ブータブルメディアを作成し、後でストレージデバイスに書き込むことができます。内蔵のインターフェイスは、Windows バージョンと同じで OS がインストールされる前にハードドライブを管理します。



WinPE ブータブルディスクの作成機能は有償バージョンにてご利用いただけます。作成手順は 次の通りです。

1. まず CD/DVD や USB フラッシュドライブを PC に挿入します。
2. ツールバーの[WinPE クリエーター]をクリックします。
3. USB、CD/DVD、Export ISO の 3 つのオプションボタンがポップアップウィンドウに表示されますので、上記のいずれかにチェックを入れ、Microsoft WinPE コンポーネントをダウンロードします。
4. 内蔵の焼付デバイスでブータブルディスクを作成できなかった場合、「ISO をエクスポート」し、Nero などのサードパーティ製の焼付ツールでディスクを作成してください。

これが WinPE ブータブルディスクのメインインターフェイスです。



RAID ドライブやハードディスクが WinPE ブータブルディスクによって認識されない場合は、[ドライバーを追加]をクリックして適正なハードウェアドライバーを追加することをお勧めします。

環境の違いによる機能比較

WinPE ブータブルディスクと Windows 環境で利用可能な機能の違いは次の通りです。:

	WinPE bootable disk	Windows environment
パーティションのサイズ調整/変更	○	○
ダイナミックボリュームのサイズ変更	○	○
パーティションの作成	○	○
パーティションのフォーマット	○	○
パーティションの削除	○	○
パーティションの結合	○	○
消去	○	○
システムパーティションのフォーマット	×	×

システムパーティションのサイズ調整/移動	○	○
パーティションのコピー	○	○
ディスクのコピー	○	○
OS の移行	×	○
ダイナミックボリュームのコピー	○	○
すべてのパーティションを削除	○	○
ダイナミックからベーシックへ変換	×	○
デフラグ	×	○
サーフェステスト	○	○
パーティションの復元	○	○
ドライブレターの変更	×	○
論理パーティションからプライマリパーティションへ変換	○	○
プライマリパーティションから論理パーティションへ変換	○	○
FAT から NTFS へ変換	×	○
コマンド	○	○
Raid 5 ダイナミックディスクの修復	×	○
MBR から GPT に変換	○	○
GPT から MBR に変換	○	○
EFI パーティションのサイズ変更	○	○
4K アライメント	○	○

その他の操作

RAID 5 ダイナミックディスクの修復

ハードディスクの RAID 5 ダイナミックボリュームが正常に機能しない場合や、古いハードディスクを大きいものに移動させる場合は RAID 5 ボリュームの修復が必要です。

RAID 5 ダイナミックボリュームの修復方法:

1. RAID 5 ダイナミックボリュームを選択します。
2. ボリュームを右クリックして、[RAID-5 ボリュームの修正]を選択します。
3. [OK]をクリックして、保留中の操作に追加されます。

MBR を作り直す

MBR (マスター ブート レコード)ディスクが破損されるとシステムを起動することができなくなります。この機能を使用すれば、パーティションテーブルを破損することなくディスク上の MBR を作り直すことができます。

MBR を作り直す方法:

1. MBR を作り直すディスクを選択します。
2. ディスクを右クリックして[MBR を作り直す]をクリックします。
3. 確認ウィンドウで MBR の種類を選択します。
4. [OK]をクリックして、保留中の操作に追加します。

アクティブパーティションの設定

複数のプライマリパーティションがある場合、いずれかをブートパーティションに設定する必要があります。そのためには 1 個のパーティションをアクティブパーティションに設定します。1 台のディスクに設定可能なアクティブパーティションは 1 個のみです。

複数のプライマリパーティションが MBR システムディスクにある場合、いずれか 1 個をシステムの起動のためアクティブに設定する必要があります。またそれはシステムかブートパーティションであることがほとんどです。

アクティブパーティションを設定する方法:

1. MBR ディスクからプライマリパーティションを選択します。
2. 選択したパーティションを右クリックして、[アクティブパーティションを設定]をクリックします。
3. [OK]をクリックして、保留中の操作リストに追加します。

ヒント:

- パーティションをアクティブに設定する前に、オペレーティングシステムが含まれていてフォーマットされているかを確認してください。されていなかった場合、そのパーティションから PC を起動できなくなってしまう。
- アクティブパーティションを設定したにもかかわらず、同一ディスク上に既存のアクティブパーティションが設定されている場合、PC が起動できなくなることを防止するためにアクティブパーティションの設定は解除されます。

GPT ディスクに初期化

この機能を利用するとディスクを GPT ディスクに初期化することができます。

1. 未使用もしくは新品のディスクを選択します。
2. ディスクを右クリックして[GPT へ初期化]を選択するか、メインメニューから[ディスク] > [GPT へ初期化]を選択します。
3. [OK]をクリックして、保留中の操作リストに追加します。

ヒント:

本機能はパーティション未設定のディスクのみでご利用いただけます。GPT ディスクは 64bit 版 Windows のみに設定することができます。GPT ディスクで設定できるサイズの上限は 2TB です。

コマンド

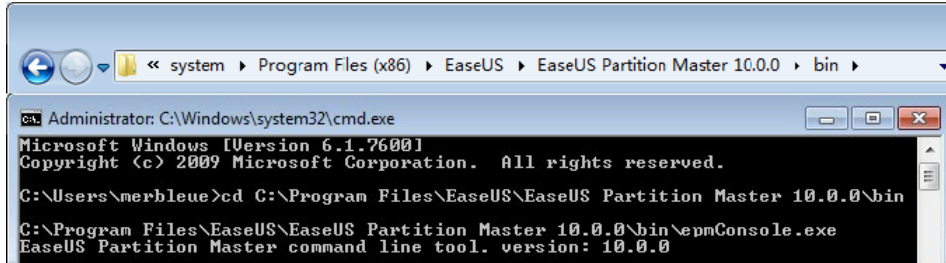
Windows CMD とはグラフィックを使わず、コマンド入力で本プログラムを操作することができる特別な環境です。この機能を使えば、本プログラムを起動することなくハードディスクを管理したり、バッチファイル作成時に特定のパーティションやディスク作成操作を追加することができます。

開始方法

コマンド入力によって本製品を使用する場合:

1. 管理者権限で Windows CMD を起動します。
2. 製品インストールフォルダーから CMD window へ「epmConsole.exe」ファイルをドラッグするか、「epmConsole.exe」を CMD へ移動します。

方法その 1:

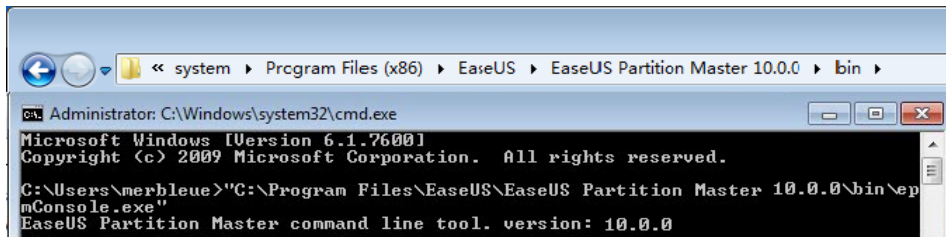


Open the command line window then input "cd" and the installation directory of our product

Click "Enter" button to run the command

コマンドラインウィンドウを展開して「cd」と入力し、インストールディレクトリーを開きます。次に Enter を押してコマンドを開始します。

方法その 2:

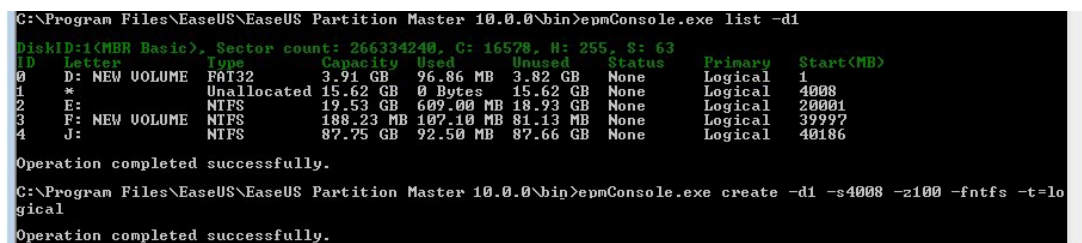


Find "epmConsole.exe" in the installation directory of our product, directly drag it into the CMD window and then click "Enter" to run.

インストールディレクトリーの「epmConsole.exe」を CMD ウィンドウにドラッグして Enter を押して起動します。

使い方

CMD 上で本プログラムを起動すると、全ての利用可能なコマンドと各コマンドに対するパラメーターが表示されます。(この情報は -h と入力すればいつでも取得することができます。)コマンドはフルモードもしくは省略モードで設定されています。省略モードのコマンドの一例は次のようになります:



list disk 1 and create a 100MB logical partition

省略モードでディスク 1 を表示して 100MB の論理パーティションを作成する場合

「epmconsole.exe list -d1」と入力するとディスク 1 の情報が表示されます。また、新しい論理パーティションを設定する場合は最初に「epmconsole.exe」と入力し、続けて“-d1”=ディスク 1 を選択“-s4008”=ハードディスクの 4008MB の位

置から作成、と入力します。(この手順は省略することもできます。その場合は未割り当て領域の最初の部分からパーティションを作成します。) “-z100”はパーティションのサイズが 100MB であること、“-fstfs”はファイルシステムが NTFS であること、“-t=logical”は論理パーティションを作成することを意味します。

フルモード時のコマンドは次のようになります:

```
C:\Program Files\EaseUS\EaseUS Partition Master 10.0.0\bin>epmConsole.exe list --disk=1
DiskID:1(MBR Basic), Sector count: 266334240, C: 16570, H: 255, S: 63
ID Letter Type Capacity Used Unused Status Primary Start(MB)
0 * Unallocated 15.62 GB 0 Bytes 15.62 GB None Logical 4008
1 D: NEW VOLUME FAT32 3.91 GB 96.86 MB 3.82 GB None Logical 1
2 E: NTFS 19.53 GB 609.00 MB 18.93 GB None Logical 20001
3 F: NEW VOLUME NTFS 188.23 MB 107.10 MB 81.13 MB None Logical 39997
4 J: NTFS 87.75 GB 92.50 MB 87.66 GB None Logical 40186
Operation completed successfully.
C:\Program Files\EaseUS\EaseUS Partition Master 10.0.0\bin>epmConsole.exe create --disk=1 --start=4008 --size=
100 --fs=ntfs --type=logical
Operation completed successfully.
C:\Program Files\EaseUS\EaseUS Partition Master 10.0.0\bin>
```

list disk 1 and create a 100MB logical partition in full mode

フルモードでディスク 1 を表示して 100MB の論理パーティションを作成する場合

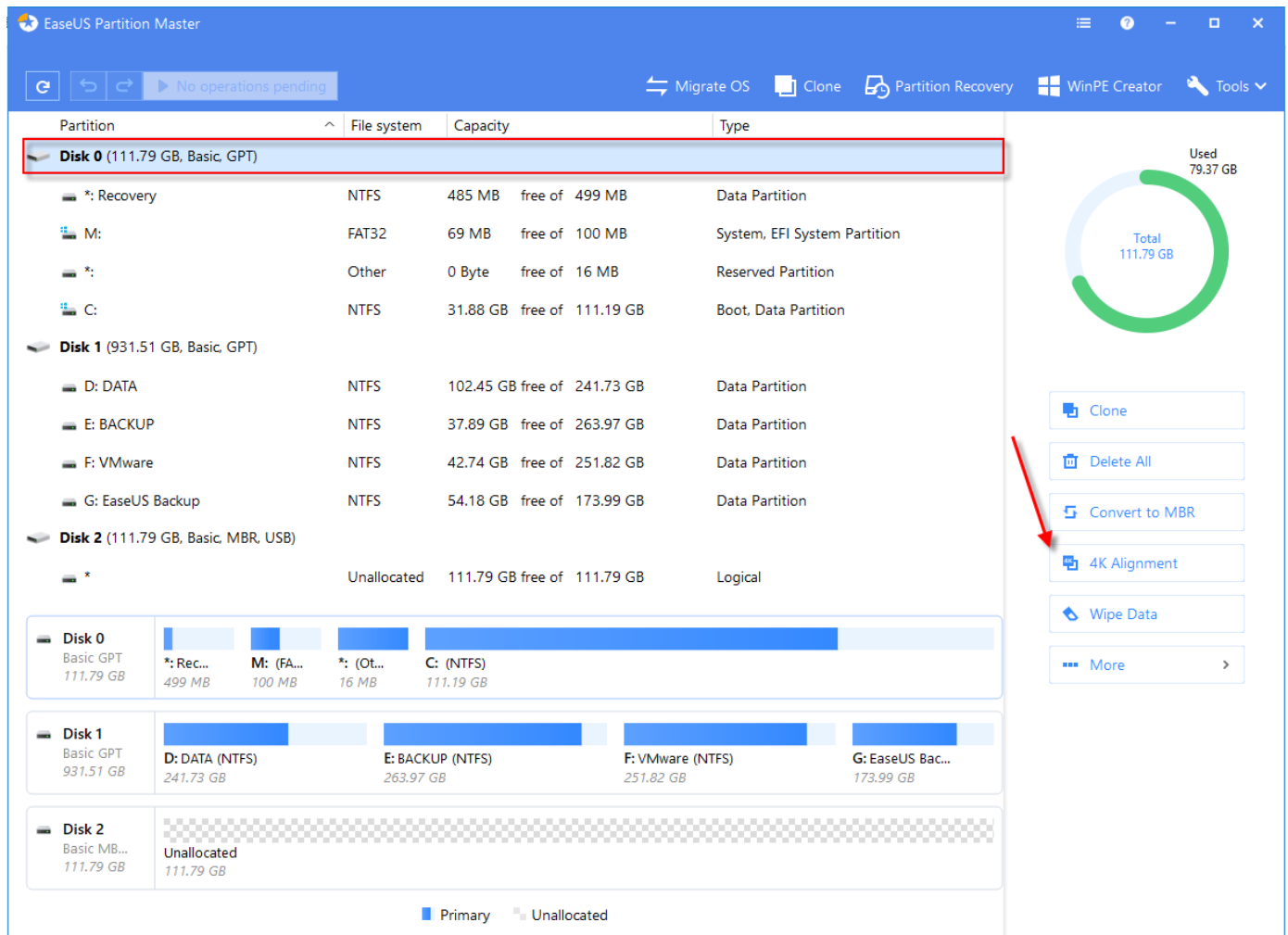
省略モードとは異なり、フルモードの場合はコマンドをフルネームで入力する必要があります。また、「-」の代わりに「--」を使用します。さらに、コマンドと引数の間に「=」を入力し、“-d1”が “--disk=1”となるようにします。

パーティションのサイズを調整するコマンドは次の通りです: “epmconsole.exe resize --disk=0 --volume=0 --start=0 --size=200” これは、ディスクの最初のパーティションをゼロから 200MB に調整することを意味しています。“--start=0” はパーティション左からのサイズ調整を行わないことを意味します。次のように入力した場合、“--start=100” 選択したパーティションの左から 100MB 縮小することを意味します。“--size=200”と入力した場合、サイズ調整後のターゲットパーティションの合計が 200MB になることを意味しています。

4K アライメント

SSD の最高のパフォーマンスを引き出すために、SSD 上の 4K セクターを整列させる 4K アライメント機能を提供しています。

この機能はメインインターフェイスでハードディスクを選択した後に、起動することができます。:



ラベル/ドライブレターの変更

パーティションラベルの変更:

1. パーティションを選択してメインメニューから[その他] > [ラベル変更]をクリックします。
2. パーティションラベルのウィンドウに新しいラベルを入力します。
3. [OK]をクリックして、保留中の操作リストに追加します。

ドライブレターの変更方法:

1. ディスクとパーティションを選択します。
2. [その他] > [ドライブレターを変更]をクリックします。
3. パーティションに割り当てたいドライブレターをドロップダウンから選択します。
4. [OK]をクリックして保留中の操作リストに追加します。

ヒント:

新しいパーティション構造がプログラム画面に表示されます。本機能は Windows 以外の OS ではご利用いただけません。

ファイルシステムの確認

ハードディスクパーティションにファイルシステムエラーがないかを確認することができます。

システムエラーの確認方法：

1. パーティションを選択します
2. 操作パネルから[その他] > [ファイルシステムを確認する]をクリックします。
3. パーティションをチェックのウィンドウに、「エラーが見つかったら修正する」という選択肢があるので、チェックを入れると見つかったエラーは修正されます。
4. [開始]をクリックして、パーティションのエラーを確認します。

パーティションを非表示

重要情報の含まれるパーティションをみだりに閲覧されるのを防ぐために、パーティションを非表示にすることができます。

パーティションを非表示にする方法：

1. パーティションを選択します。
2. [その他] > [非表示]をクリックします。
3. [OK]をクリックして保留中の操作に追加します。

ヒント：

非表示のパーティションを表示する場合は上記 2. で「パーティションを表示」を選択してから一連の動作を実行します。

パーティションを閲覧

この機能は FAT/NTFS/ReFS/EXT2/EXT3 の各ファイルシステムを設定したパーティションを閲覧する場合に使用します。この機能を使用して下記の情報を確認することができます：

- パーティション全体の空き容量
- 全てのフォルダーおよびファイルのディレクトリー
各フォルダーに対し、作成/変更/アクセス日時に関する情報があり、同時に特定のファイルについての容量を確認することもできます。

パーティションを閲覧する方法：

1. FAT/NTFS/EXT2/EXT3 いずれかのパーティションを選択します。
2. [パーティション] > [パーティションを閲覧]をクリックします。

プロパティをチェック

パーティションのプロパティをチェックする方法：

1. パーティション/ディスクを選択します。
2. メインメニューの[その他] > [プロパティ]をクリックし、確認します。

サーフェステスト

この機能を使用してディスク上の不良セクターを確認します。本プログラムは全てのセクターをチェックし、検出された不良セクターを表示します。

サーフェステストの実行方法:

1. テストを行うディスク/パーティションを右クリックし、[サーフェステスト]をクリックします。
2. この操作はすぐに実行されます。

テクニカルサポート

EaseUS Partition Master に関する詳細は以下のサイトをご参照ください: <http://partition.easeus.jp/>

テクニカルサポートは次のリンクからご連絡ください: <http://partition.easeus.jp/contact/tech>

パーティション/データの欠損、PC 再起動後に操作ができなくなった、プログラム起動中にエラーメッセージが表示されるなどの問題が発生した場合は「EPMLOG.log」のエラーログおよびエラー画面のスクリーンショットをお送りください。エラーログは本プログラムのインストールパス内の「bin」フォルダーに作成されています。